対象校No. 665
注４

学校コード F117310105497
注３

設置年度　令和　３年度

届出

計画の区分：　学部の設置
注１

注2
金沢学院大学　スポーツ科学部 スポーツ科学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正後大学設置基準適用）

学校法人金沢学院大学
令和６年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部
職名・氏名	課長補佐（カチョウホサ）　奥村絵梨子（オクムラエリコ）
電話番号	076 - 229-8892（内線：819）
（夜間）	076 - 229-8892（内線：819）
ｅ－mail	kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
５．教育研究実施組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５２

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人金沢学院大学

（２）大　学　名

金沢学院大学

（３）調査対象大学等の位置

〒９２０－１３９２
石川県金沢市末町１０の５番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ アキヤマ　ミノル ） 秋山　稔 （平成２９年１月）		
学　　長	（ アキヤマ　ミノル ） 秋山　稔 （平成２５年４月）		
学 部 長	（ フジワラ　カツオ ） 藤原　勝夫 （令和３年４月）		
学科長等	（ フクイ　タクヤ ） 福井　卓也 （令和３年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・　様式は、令和元年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スポーツ科学部 スポーツ科学科 学士（スポーツ科学）	体育関係	4 年	150 人	2年次 0 人 3年次 10 人 4年次 0 人	620 人	－	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１）又は（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

対象年度／区分	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 150 （　－　） ［　－　］	人	人 150 （　－　） ［　－　］	人	人 150 （ 10 ） ［　－　］	人	人 150 （ 10 ） ［　－　］	人	－	1.09倍	—倍	
志願者数	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	276 （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	271 （ － ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］	239 （ 1 ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	244 （ 4 ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］				
受験者数	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	273 （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	271 （ － ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］	237 （ 1 ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	243 （ 4 ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］				
合格者数	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	223 （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	203 （ － ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］	219 （ 1 ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	226 （ 4 ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］				
Ｂ　入学者数	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	171 （ － ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	173 （ － ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］	163 （ 1 ） ［ － ］	－ （ － ） ［ － ］	188 （ 4 ） ［ 1 ］	－ （ － ） ［ － ］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		1.14		1.15		1.08		1.25					

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・　「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・　「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・　「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	169 [－] (－)	－ [－] (－)	173 [1] (－)	－ [－] (－)	163 [－] (－)	－ [－] (－)	188 [1] 	－ [－] 	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	168 [－] (－)	－ [－] (－)	170 [1] (－)	－ [－] (－)	159 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	166 [－] (－)	－ [－] (－)	168 [1] (－)	－ [－] (－)	編入学生　4名
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	166 [－] (－)	－ [－] (－)	編入学生　1名
計	[　　] (　　)		[　　] (　　)		169 [－] (－)		341 [1] (－)		499 [1] (－)		681 [2] (－)		

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和元年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	171 人	2 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	2 人	0 人	他教育機関への入学(1人)、その他(1人)
令和4年度	341 人	7 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	4 人	0 人	就学意欲の低下（1人）、就職（1人）、その他(2人)
			令和4年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学（1人）、学生個人の心身に関する事情（1人）、その他（1人）
令和5年度	499 人	9 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	5 人	0 人	就学意欲の低下（1人）、就職（1人）、学生個人の心身に関する事情（1人）、家庭の事情（1人）、その他(1人)
			令和5年度	4 人	0 人	就学意欲の低下（1人）、就職（2人）、家庭の事情（1人）
令和6年度	681 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合　計		18 人		18 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月１日現在の数字を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\ \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{171} = \boxed{1.16}\ \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{341} = \boxed{2.05}\ \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{499} = \boxed{1.8}\ \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{681} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜スポーツ科学部　スポーツ科学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	学修基礎	学修基礎	1前	2			1			2		
		キャリアデザインⅠ	1後	2								兼1
		キャリアデザインⅡ	2前	2								兼1
		キャリアデザインⅢ	2後	2								兼1
	人文科学・自然科学	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
		心理学の基礎	2前		2							兼1
		経済学の基礎	1後		2							兼1
		生理学	2後		2				1			
		倫理学	2後		2							兼1
	地域連携	地域課題研究	1前		2					1		
		FSP講座	1前		2		2					
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前	2			1	1		1		
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2							兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2							兼1
		キャリアプランニングⅠ	3前	2				1				
		キャリアプランニングⅡ	3後	2				1				
		インターンシップ実習	1通		1			1				
小計（19科目）			－	14	23		3	2	1	2		兼6
外国語科目		英語Ⅰ	1前	2								兼3
		英語Ⅱ	1後	2								兼3
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2							兼2
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2							兼2
		中国語Ⅰ	2前		2							兼1
		中国語Ⅱ	2後		2							兼1
		朝鮮語Ⅰ	2前		2							兼1
		朝鮮語Ⅱ	2後		2							兼1
小計（8科目）			－	4	12							兼7

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員
教養科目	学修基礎	学修基礎Ⅰ	1前		2			6	1	2	6		
		学修基礎Ⅱ	1後			1		5	1	2	6		
		キャリアデザインⅠ	1後		2			3	0	1	1		2
		キャリアデザインⅡ	2前		2			1	1	1	2		2
		キャリアデザインⅢ	2後		2			2	1	1	1		2
	人文科学・自然科学	哲学Ⅰ	1前			2							1
		哲学Ⅱ	1後			2							1
		法学（日本国憲法）	1後			2				1			
		心理学の基礎	2前			2							1
		経済学の基礎	1前			2							1
		生理学	2前			2		1	0				
		倫理学	2後			2							1
	地域連携	地域課題研究	1前			2		1	1				
		FSP講座	1前			2		1	1		1		
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前			2				1	2		
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2			1		1	3		
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2			1		1	3		
		キャリアプランニングⅠ	3前		2			1		1	1		
		キャリアプランニングⅡ	3後		2			1		1	1		
		インターンシップ実習	1通			1		1					
		スポーツ科学入門	1前			1				1			
小計（21科目）			－		16	22		6	1	3	6		5
外国語科目		英語Ⅰ	1前		2								4
		英語Ⅱ	1後		2								4
		英語コミュニケーションⅠ	2前			2							2
		英語コミュニケーションⅡ	2後			2							2
		中国語Ⅰ	2前			2							1
		中国語Ⅱ	2後			2							1
		朝鮮語Ⅰ	2前			2							1
		朝鮮語Ⅱ	2後			2							1
小計（8科目）			－		4	12							8

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門必修科目	運動生理学	1前	2			1					
		健康科学	1前	2			1					
		スポーツ心理学	1後	2			1					
		トレーニング論	1後	2			1		1			
		機能的解剖学	1後	2			1					
		運動学	2前	2			1					
		スポーツ栄養学	2後	2								兼1
		スポーツ経営管理	2後	2						1		
		運動発達・老化学	2前	2			1					
		体育原理	3前	2					1			
		体育史	3前	2					1			
		スポーツ医学（救急処置を含む。）	3前	2					1			兼1
		スポーツ社会学	3前	2						1		
		専門演習Ⅰ	3通	4			4	2	2	3		
		専門演習Ⅱ	4通	4			4	2	2	3		
	小計（15科目）		－	34			5	2	2	3		兼2
	専門選択必修スポーツ実技科目	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	2前		1				1	1		
		スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）	1後		1			1		1		
		スポーツ実技Ⅲ（陸上）	2前		1		1		1			
		スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）	2後		1		1					
		スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール）	3前		1				1			
		スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	3前		1							兼1
		スポーツ実技Ⅶ（器械体操・トランポリン）	3後		1		1	1				
		スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	3後		1		2	1				
		スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	2前		1					1		
		スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	1後		1		1		1			
		スポーツ実技Ⅺ（卓球）	1後		1		1					
		スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ）	1前		1							兼1
		スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）	2前		1							兼1
		スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）	1前		1					1	1	
		スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）	2前		1					1	1	
		スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）	1後		1							兼1
		スポーツ実技ⅩⅦ（野球）	3前		1					1		
	小計（17科目）		－		17		6	2	1	2	1	兼3

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）
専門科目	専門必修科目	運動生理学	1後	○	2			1					
		健康科学	1前	○	2			1					
		スポーツ統計学	1前	○	2					1			
		スポーツ心理学	1後	○	2					1			
		トレーニング論	1後	○	2			1	1		2		1
		機能的解剖学	1前	○	2			1					
		運動学	2前	○	2			1					
		スポーツ栄養学	2後	○	2								1
		スポーツ経営管理	2後	○	2					1	0		
		運動発達・老化学	2後	○	2			1					
		体育原理	3後	○	2			1		1	0		
		体育史	3後	○	2			2	1	1	4		
		スポーツ医学（救急処置を含む。）	3前	○	2			1	0				1
		スポーツ社会学	3前	○	2					1	0		
		専門演習Ⅰ	3通		4			6	1	2	6		
		専門演習Ⅱ	4通		4			6	1	3	6		
	小計（16科目）		－		36			6	1	3	6		3
	専門選択必修スポーツ実技科目	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	2前	○		1					3		
		スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）	1後			1		2		1	1		
		スポーツ実技Ⅲ（陸上）	2前	○		1		0			2		
		スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）	2後	○		1					1		1
		スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）	3後			1					1		
		スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	3前	○		1							1
		スポーツ実技Ⅶ（器械体操・トランポリン）	3後	○		1		2					
		スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	3前	○		1		2					2
		スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	2前			1					1		
		スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	2後			1		1			2		
		スポーツ実技Ⅺ（卓球）	1後			1		1					
		スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ）	1後			1			1		1		
		スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）	2後			1			1		1		
		スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）	1前			1				2	1		
		スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）	2前			1				1	1		
		スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）	1後	○		1					1		
		スポーツ実技ⅩⅦ（野球）	3前			1				1			
		スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）	1前			1				1			
		スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）	1後			1		1			2		
	小計（19科目）		－			19		5	1	3	5		4

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門選択科目	地域とスポーツ	2後		2		1					
		スポーツメディア論	2前		2		1					
		スポーツマーケティング	2前		2					1		
		スポーツ文化論	3前		2				1			
		スポーツ法学	3前		2					1		
		スポーツファイナンス	3後		2					1		
		スポーツ政策論	3後		2					1		
		生命倫理	3後		2		1					
		プレゼンテーション演習	2前		2					1		
		情報活用演習	2通		4		2			1		
		海外文献購読	2前		2		2		1			
		海外研修（スポーツ事情）	2前		2		1			1		
		スポーツ測定評価	1前		2		1					
		運動処方	1後		2		1					
		スポーツコンディショニング論	2前		2			1				
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2後		1			1				
		スポーツコンディショニング演習Ⅱ	3前		1			1				
		コーチング論	3前		2		1					
		コーチング演習Ⅰ	3後		1		1					
		コーチング演習Ⅱ	4前		1		1					
		メンタルトレーニング論	3後		2		1					
		スポーツ技術・戦術論	3前		2		1			1		
		武道論	1前		2			1				
		武道演習Ⅰ	1後		1			1				
		武道演習Ⅱ	2前		1			1				
		球技論	1前		2					1		
		球技演習Ⅰ	1後		1					1		
		球技演習Ⅱ	2前		1					1		
		スポーツ競技の心理	3後		2			1				
		スポーツイベント企画運営	3前		2		1					
		スポーツボランティア論	4前		2			1				
		スポーツボランティア演習	4前		2		1	1				
		競技者育成システム	4前		2		1					
		生涯スポーツ論	1前		2		1			1		
		スポーツビジネス概論	1後		2		1					
		生活習慣病概論	1前		2							兼1
		運動生化学	2前		2		1					
		衛生・公衆衛生学	2後		2							兼1
		学校保健	2後		2		1					
		病理学	3後		2							兼1
		スポーツトレーナー演習	2前		2		3		1			
		レクリエーション論	2前		2				1			
		公務員と法	3後		2					1		
		体力トレーニング実習	3前		1		1					
		資格柔道	3後		1			1				
		健康管理演習	3前		2		2		1			兼1
		健康産業施設現場研修	3前		2				2			
		健康運動演習	4前		2				1			
		スポーツ統計学	1前		2				1			
		スポーツ技術指導演習	3前		2		4	2	1	3		
		サッカー指導演習	1通		2					1	1	
		保健体育科教育法Ⅰ	2通		4							兼1
		保健体育科教育法Ⅱ	3通		4							兼1
	小計（53科目）		－		102		7	2	2	3	1	兼2
合計（112科目）			－	52	154		7	2	2	3	1	兼20

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）
		地域とスポーツ	2後			2		1					
		スポーツメディア論	2後	○		2		2			2		
		スポーツマーケティング	2前			2							1
		スポーツ文化論	3後	○		2					1		
		スポーツ法学	3後	○		2				1	0		
		スポーツファイナンス	3後			2							1
		スポーツ政策論	3前			2				1	0		
		生命倫理	3後	○		2		1			0		
		プレゼンテーション演習	2後			2					1		
		情報活用演習	2通			4		1	1		3		
		海外文献購読	2後			2				1			
		海外研修（スポーツ事情）	2前			2		1			1		
		スポーツ測定評価	1後			2		0					1
		運動処方	1後	○		2		0					1
		スポーツコンディショニング論	2前	○		2		1		1			
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2後			1		1					
		スポーツコンディショニング演習Ⅱ	3前			1		1					
		コーチング論	3前	○		2		1					
		コーチング演習Ⅰ	3後			1		1	1	0	5		0
		コーチング演習Ⅱ	4前			1		1	1	1	4		0
		メンタルトレーニング論	3後	○		2		1					
		スポーツ技術・戦術論	3後	○		2		1			1		
		武道論	1前	○		2		1					
		武道演習Ⅰ	1後			1		1					
		武道演習Ⅱ	2前			1		1					
		球技論	1前	○		2			1	2	2		
		球技演習Ⅰ	1後			1				1			
		球技演習Ⅱ	2前			1				1			
		スポーツ競技の心理	3後			2				1			
		スポーツイベント企画運営	3後			2		1					
		スポーツボランティア論	4前	○		2		1					
		スポーツボランティア演習	4前			2		1			1		
		競技者育成システム	4前			2		1			1		
		生涯スポーツ論	1前	○		2		1					
		スポーツビジネス概論	1後	○		2					1		
		生活習慣病概論	1前	○		2		1	0				1
		運動生化学	2前			2		0					1
		衛生・公衆衛生学	2後			2							1
		学校保健	2前	○		2		0					1
		病理学	3後	○		2							1
		スポーツトレーナー演習	2前	○		2		1	1		2		1
		レクリエーション論	2前	○		2					1		
		公務員と法	3後			2				1	0		
		体力トレーニング実習	3前			1		1			2		
		資格柔道	3後			1		1					
		健康管理演習	3前	○		2		2	0				1
		健康産業施設現場研修	3前	○		2		1	0		1		
		健康運動演習	4前			2		1	0				
		スポーツ心理学演習	2前			2		1		1			
		スポーツ技術指導演習	3前			2		5		2	2		2
		サッカー指導演習	1通	○		2				2	1		
		スポーツ集団の形成と社会	1後			2				1			
		オリンピックへの挑戦と指導	1前			2		2			2		
		保健体育科教育法Ⅰ	2通	○		4			1		1		
		保健体育科教育法Ⅱ	3通	○		4			1		1		
		専攻基礎Ⅰ	2前			1		5	1	2	6		
		専攻基礎Ⅱ	2後			1		5	1	2	6		
	小計（57科目）		－			108		6	1	4	6		7
合計（121科目）			－		56	161		7	1	4	6		23

卒業要件及び履修方法
教養科目は必修14単位を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門必修科目で34単位、専門選択必修スポーツ実技科目から6単位以上を含めて100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））

卒業要件及び履修方法
教養科目は必修16単位を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門必修科目で36単位、専門選択必修スポーツ実技科目から6単位以上を含めて100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））

【令和５年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	学修基礎	学修基礎Ⅰ	1前	2			4	2	2	7		
		学修基礎Ⅱ	1後		1		4	2	2	7		
		学修基礎Ⅲ	2前		1		4	2	2	7		
		学修基礎Ⅳ	2後		1		4	2	2	7		
		キャリアデザインⅠ	1後	2			1	1	1	2		2
		キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1	2			2
		キャリアデザインⅢ	2後	2			1	1	2			2
	人文科学・自然科学	哲学Ⅰ	1前		2							1
		哲学Ⅱ	1後		2							1
		法学（日本国憲法）	1後		2							1
		心理学の基礎	2前		2		1					
		経済学の基礎	1後		2							1
		生理学	2前		2			1				
		倫理学	2後		2							1
	地域連携	地域課題研究	1前		2		1	1				
		FSP講座	1前		2		1	1		1		
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前		2				1	2		
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前	2					1	4		
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後	2					1	4		
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			1		1	1		
		キャリアプランニングⅡ	3後	2			1		1	1		
		インターンシップ実習	1通		1		1					
小計（22科目）			－	16	24		5	2	2	7		5
外国語科目		英語Ⅰ	1前	2								3
		英語Ⅱ	1後	2								3
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2							2
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2							2
		中国語Ⅰ	2前		2							1
		中国語Ⅱ	2後		2							1
		朝鮮語Ⅰ	2前		2							1
		朝鮮語Ⅱ	2後		2							1
小計（8科目）			－	4	12							6

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	学修基礎	学修基礎Ⅰ	1前	2			5	3	1	4		
		学修基礎Ⅱ	1後		1		5	3	1	4	1	
		学修基礎Ⅲ	2前		1		5	3	1	4		
		学修基礎Ⅳ	2後		1		5	3	1	4	1	
		キャリアデザインⅠ	1後	2			1	1	1	1		兼1
		キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1	1	1		兼1
		キャリアデザインⅢ	2後	2			1	1	1	1		兼1
	人文科学・自然科学	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
		心理学の基礎	2前		2		1					兼0
		経済学の基礎	1後		2							兼1
		生理学	2前		2			1	0			
		倫理学	2後		2							兼1
	地域連携	地域課題研究	1前		2		1	1		0		
		FSP講座	1前		2		1	1		1		
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前	2			0	1	1	1		
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		1	1		3		兼0
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		1	1		3		兼0
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			1	0	1	1		
		キャリアプランニングⅡ	3後	2			1	0	1	1		
		インターンシップ実習	1通		1		1	0				
小計（22科目）			－	14	26		6	3	1	4	1	兼4
外国語科目		英語Ⅰ	1前	2								兼3
		英語Ⅱ	1後	2								兼3
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2							兼2
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2							兼2
		中国語Ⅰ	2前		2							兼1
		中国語Ⅱ	2後		2							兼1
		朝鮮語Ⅰ	2前		2							兼1
		朝鮮語Ⅱ	2後		2							兼1
小計（8科目）			－	4	12							兼6

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門必修科目	運動生理学	1前	2			1					
		健康科学	1前	2			1					
		スポーツ統計学	1前	2					1			
		スポーツ心理学	1後	2					1			
		トレーニング論	1後	2			2	1		2		
		機能的解剖学	1後	2			1					
		運動学	2前	2			1					
		スポーツ栄養学	2後	2								1
		スポーツ経営管理	2後	2						1		
		運動発達・老化学	2後	2			1					
		体育原理	3後	2			1			1		
		体育史	3後	2			2	1	1	5		
		スポーツ医学（救急処置を含む。）	3後	2				1				1
		スポーツ社会学	3前	2						1		
		専門演習Ⅰ	3通	4			5	2	2	7		
		専門演習Ⅱ	4通	4			6	2	2	4		
	小計（16科目）		－	36			6	2	2	7		2
	専門選択必修スポーツ実技科目	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	2前		1					3		
		スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）	1後		1		2		1	1		
		スポーツ実技Ⅲ（陸上）	2前		1		1			2		
		スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）	2後		1					1		1
		スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）	3前		1					1		
		スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	3前		1							1
		スポーツ実技Ⅶ（器械体操・トランポリン）	3後		1		2					
		スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	3前		1		2					2
		スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	2後		1					1		
		スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	2後		1		1			3		
		スポーツ実技Ⅺ（卓球）	1後		1		1					
		スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ）	1前		1			1				
		スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）	2前		1			1				
		スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）	1前		1				2	1		
		スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）	2前		1				1	1		
		スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）	1後		1					1		
		スポーツ実技ⅩⅦ（野球）	3前		1				1			
		スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）	1前		1				1			
		スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）	1後		1		1			1		
	小計（19科目）		－		19		6	1	2	7		4

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門必修科目	運動生理学	1前	2			1					
		健康科学	1前	2			1					
		スポーツ統計学	1前	2					0	1		
		スポーツ心理学	1後	2			0			1		
		トレーニング論	1後	2			2	1	0			
		機能的解剖学	1後	2			1					
		運動学	2前	2			1					
		スポーツ栄養学	2後	2								兼1
		スポーツ経営管理	2後	2						1		
		運動発達・老化学	2後	2			1					
		体育原理	3前	2				1	0			
		体育史	3前	2				1	0			
		スポーツ医学（救急処置を含む。）	3前	2				1	0			兼1
		スポーツ社会学	3前	2						1		
		専門演習Ⅰ	3通	4			6	3	1	4		
		専門演習Ⅱ	4通	4			6	3	1	4		
	小計（16科目）		－	36			6	3	1	4		兼2
	専門選択必修スポーツ実技科目	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	2前		1			1	0	0		
		スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）	1後		1		1	0	1	0	1	
		スポーツ実技Ⅲ（陸上）	2前		1		1	0	0	1		
		スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）	2後		1		1					
		スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）	3後		1			0	0		1	
		スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	3前		1							兼1
		スポーツ実技Ⅶ（器械体操・トランポリン）	3後		1		2	0				
		スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	3後		1		2	0				
		スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	2前		1					1		
		スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	1後		1		1	1	0	2	1	
		スポーツ実技Ⅺ（卓球）	1後		1		1	0				
		スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ）	1前		1			1				兼0
		スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）	2前		1			1				兼0
		スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）	1前		1				1	0	0	
		スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）	2前		1				1	0	0	
		スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）	1後		1					1		兼0
		スポーツ実技ⅩⅦ（野球）	3前		1					1		
		スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）	1前		1			1		1		
		スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）	1後		1		1	1				
	小計（19科目）		－		19		6	2	2	4	1	兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	専門選択科目	地域とスポーツ	2後		2		1					
		スポーツメディア論	2後		2					1		
		スポーツマーケティング	2前		2							1
		スポーツ文化論	3前		2					1		
		スポーツ法学	3後		2					1		
		スポーツファイナンス	3後		2							1
		スポーツ政策論	3後		2					1		
		生命倫理	3後		2		1			1		
		プレゼンテーション演習	2後		2					1		
		情報活用演習	2通		4		1	1		3		
		海外文献購読	2後		2				1			
		海外研修（スポーツ事情）	2前		2		1			1		
		スポーツ測定評価	1後		2		1					
		運動処方	1後		2		1					
		スポーツコンディショニング論	2前		2		1		1			
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2後		1		1					
		スポーツコンディショニング演習Ⅱ	3前		1		1					
		コーチング論	3前		2		1					
		コーチング演習Ⅰ	3後		1		1	1	1	4		1
		コーチング演習Ⅱ	4前		1		1	1		3		1
		メンタルトレーニング論	3後		2		1					
		スポーツ技術・戦術論	3後		2		1			1		
		武道論	1前		2		1					
		武道演習Ⅰ	1後		1		1					
		武道演習Ⅱ	2前		1		1					
		球技論	1前		2			1	2	2		
		球技演習Ⅰ	1後		1				2			
		球技演習Ⅱ	2前		1				2			
		スポーツ競技の心理	3後		2				1			
		スポーツイベント企画運営	3前		2		1					
		スポーツボランティア論	4前		2		1					
		スポーツボランティア演習	4前		2		1			1		
		競技者育成システム	4前		2		1			1		
		生涯スポーツ論	1前		2		1					
		スポーツビジネス概論	1後		2					2		
		生活習慣病概論	1前		2			1				1
		運動生化学	2前		2		1					
		衛生・公衆衛生学	2後		2							1
		学校保健	2後		2		1					
		病理学	3後		2							1
		スポーツトレーナー演習	2前		2		2	1		2		1
		レクリエーション論	2後		2					1		
		公務員と法	3後		2					1		
		体力トレーニング実習	3前		1		1			2		
		資格柔道	3後		1		1					
		健康管理演習	3前		2		2	1				1
		健康産業施設現場研修	3前		2			1		1		
		健康運動演習	4前		2			1				
		スポーツ心理学演習	2前		2		1		1			
		スポーツ技術指導演習	3前		2		6		2	2		1
		サッカー指導演習	1通		2				2	1		
		スポーツ集団の形成と社会	1後		2				1			
		オリンピックへの挑戦と指導	1前		2		2			2		
		保健体育科教育法Ⅰ	2通		4			1		1		
		保健体育科教育法Ⅱ	3通		4			1		1		
	小計（55科目）		－		106		6	2	2	7		6
合計（120科目）			－	56	161		7	2	3	7		20

卒業要件及び履修方法

教養科目は必修16単位を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門必修科目で36単位、専門選択必修スポーツ実技科目から6単位以上を含めて100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	専門選択科目	地域とスポーツ	2後		2		1					
		スポーツメディア論	2後		2		0			1		
		スポーツマーケティング	2前		2					0		兼1
		スポーツ文化論	3前		2			1	0			
		スポーツ法学	3後		2					1		
		スポーツファイナンス	3後		2					0		兼1
		スポーツ政策論	3前		2					1		
		生命倫理	3後		2		1			1		
		プレゼンテーション演習	2後		2					1		
		情報活用演習	2通		4		1	1		1	1	
		海外文献購読	2後		2		0	1	0	0		
		海外研修（スポーツ事情）	2前		2		1			0		
		スポーツ測定評価	1後		2		1					
		運動処方	1後		2		1					
		スポーツコンディショニング論	2前		2		1	0		1		
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2後		1		1	0				
		スポーツコンディショニング演習Ⅱ	3前		1		1	0				
		コーチング論	3前		2		1	0	0	0		
		コーチング演習Ⅰ	3後		1		1	1	0	2	1	
		コーチング演習Ⅱ	4前		1		1	1	0	2		
		メンタルトレーニング論	3後		2		1					
		スポーツ技術・戦術論	3後		2		1			1		
		武道論	1前		2		1	0				
		武道演習Ⅰ	1後		1		1	0				
		武道演習Ⅱ	2前		1		1	0				
		球技論	1前		2			1	1	2		
		球技演習Ⅰ	1後		1				1	0		
		球技演習Ⅱ	2前		1				1	0		
		スポーツ競技の心理	3後		2			0		1		
		スポーツイベント企画運営	3前		2		1					
		スポーツボランティア論	4前		2		1	0				
		スポーツボランティア演習	4前		2		1	0		0	1	
		競技者育成システム	4前		2		1					
		生涯スポーツ論	1前		2		1	0		0		
		スポーツビジネス概論	1後		2		0			2		
		生活習慣病概論	1前		2			1				兼1
		運動生化学	2前		2		1					
		衛生・公衆衛生学	2後		2							兼1
		学校保健	2後		2		1					
		病理学	3後		2			1				兼0
		スポーツトレーナー演習	2前		2		2	1	0	0		
		レクリエーション論	2前		2			1	0			
		公務員と法	3後		2					1		
		体力トレーニング実習	3前		1		1	0				
		資格柔道	3後		1		1	0				
		健康管理演習	3前		2		2	1	0			兼1
		健康産業施設現場研修	3前		2			1	0	2		
		健康運動演習	4前		2			1	0			
		スポーツ心理学演習	2前		2		1			1		
		スポーツ技術指導演習	3前		2		6	0	1	2		兼1
		サッカー指導演習	1通		2				2	0	1	
		スポーツ集団の形成と社会	1後		2				1			
		オリンピックへの挑戦と指導	1後		2		2			1		
		保健体育科教育法Ⅰ	2通		4					1		兼0
		保健体育科教育法Ⅱ	3通		4					1		兼0
	小計（55科目）		－		106		6	3	2	4	2	兼5
合計（120科目）			－	54	163		7	3	2	4	2	兼16

卒業要件及び履修方法

教養科目は必修14単位を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門必修科目で36単位、専門選択必修スポーツ実技科目から6単位以上を含めて100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	学修基礎	学修基礎Ⅰ	1前	2			5	3	1	4		
		学修基礎Ⅱ	1後		1		5	3	1	4		
		学修基礎Ⅲ	2前		1		5	3	1	4		
		学修基礎Ⅳ	2後		1		5	3	1	4		
		キャリアデザインⅠ	1後	2								兼1
		キャリアデザインⅡ	2前	2								兼1
		キャリアデザインⅢ	2後	2								兼1
	人文科学・自然科学	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
		心理学の基礎	2前		2		1					兼0
		経済学の基礎	1後		2							兼1
		生理学	2前		2			1	0			
		倫理学	2後		2							兼1
	地域連携	地域課題研究	1前		2		1	1		0		
		FSP講座	1前		2		1	1		1		
	スポーツ科学	スポーツ科学	1前	2			0	0	1	1		
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		1	1		3		兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		1	1		3		兼1
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			1	0		1		
		キャリアプランニングⅡ	3後	2			1	0		1		
		インターンシップ実習	1通		1		1	0				
小計（22科目）			－	14	26		5	3	1	4		兼4
外国語科目		英語Ⅰ	1前	2								兼3
		英語Ⅱ	1後	2								兼3
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2							兼2
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2							兼2
		中国語Ⅰ	2前		2							兼1
		中国語Ⅱ	2後		2							兼1
		朝鮮語Ⅰ	2前		2							兼1
		朝鮮語Ⅱ	2後		2							兼1
小計（8科目）			－	4	12							兼7

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門必修科目	運動生理学	1前	2			1					
		健康科学	1前	2			1					
		スポーツ心理学	1後	2			0			1		
		トレーニング論	1後	2			1	1	0			
		機能的解剖学	1後	2			1					
		運動学	2前	2			1					
		スポーツ栄養学	2後	2								兼1
		スポーツ経営管理	2後	2						1		
		運動発達・老化学	2前	2			1					
		体育原理	3前	2				1	0			
		体育史	3前	2				1	0			
		スポーツ医学（救急処置を含む。）	3前	2				1	0			兼1
		スポーツ社会学	3前	2						1		
		専門演習Ⅰ	3通	4			6	3	1	4		
		専門演習Ⅱ	4通	4			6	3	1	4		
	小計（15科目）		－	34			6	3	1	4		兼2
	専門選択必修スポーツ実技科目	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	2前		1			1	0	0		
		スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）	1後		1		1	0	1	0		
		スポーツ実技Ⅲ（陸上）	2前		1		1	1	0	2		
		スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）	2後		1		1					
		スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール）	3前		1			1	1			
		スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	3前		1							兼1
		スポーツ実技Ⅶ（器械体操・トランポリン）	3後		1		2	0				
		スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	3後		1		2	0				
		スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	2前		1					1		
		スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	1後		1		1	1	0	2		
		スポーツ実技Ⅺ（卓球）	1後		1		1	1				
		スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ）	1前		1			1				兼0
		スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）	2前		1			1				兼0
		スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）	1前		1				1	0	0	
		スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）	2前		1				1	0	0	
		スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）	1後		1					1		兼0
		スポーツ実技ⅩⅦ（野球）	3前		1					1		
		スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）	1前		1			1		1		
		スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）	1後		1		1	1				
	小計（19科目）		－		19		6	3	1	4	0	兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	専門選択科目	地域とスポーツ	2後		2		1					
		スポーツメディア論	2後		2		0			1		
		スポーツマーケティング	2前		2					0		兼1
		スポ―ツ文化論	3前		2			1	0			
		スポーツ法学	3後		2					1		
		スポーツファイナンス	3後		2					0		兼1
		スポーツ政策論	3後		2					1		
		生命倫理	3後		2		1			1		
		プレゼンテーション演習	2前		2					1		
		情報活用演習	2通		4		1	1		1		
		海外文献購読	2前		2		1	1	0	1		
		海外研修（スポーツ事情）	2前		2		1			0		
		スポーツ測定評価	1後		2		1					
		運動処方	1後		2		1					
		スポーツコンディショニング論	2前		2		1	0		1		
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2後		1		1	0				
		スポーツコンディショニング演習Ⅱ	3前		1		1	0				
		コーチング論	3前		2		1	1	1	2		
		コーチング演習Ⅰ	3後		1		1	1	1	2		
		コーチング演習Ⅱ	4前		1		1	1	1	2		
		メンタルトレーニング論	3後		2		1					
		スポーツ技術・戦術論	3前		2		1			2		
		武道論	1前		2		1	0				
		武道演習Ⅰ	1後		1		1	0				
		武道演習Ⅱ	2前		1		1	0				
		球技論	1前		2			1	1	2		
		球技演習Ⅰ	1後		1				1	0		
		球技演習Ⅱ	2前		1				1	0		
		スポーツ競技の心理	3後		2			0		1		
		スポーツイベント企画運営	3前		2		1					
		スポーツボランティア論	4前		2		1	0				
		スポーツボランティア演習	4前		2		1	0		1		
		競技者育成システム	4前		2		1					
		生涯スポーツ論	1前		2		1	1		0		
		スポーツビジネス概論	1後		2		0			1		
		生活習慣病概論	1前		2			1				兼1
		運動生化学	2前		2		1					
		衛生・公衆衛生学	2後		2							兼1
		学校保健	2後		2		1					
		病理学	3後		2			1				兼0
		スポーツトレーナー演習	2前		2		2	1	0	1		
		レクリエーション論	2前		2			1	0			
		公務員と法	3後		2					1		
		体力トレーニング実習	3前		1		1	1				
		資格柔道	3後		1		1	0				
		健康管理演習	3前		2		2	1	0			兼1
		健康産業施設現場研修	3前		2			1	0	2		
		健康運動演習	4前		2			1	0			
		スポーツ統計学	1前		2				0	1		
		スポーツ技術指導演習	3前		2		6	0	1	3		兼1
		サッカー指導演習	1通		2				2	0	1	
		スポーツ集団の形成と社会	1後		2				1			
		オリンピックへの挑戦と指導	1後		2		2			1		
		保健体育科教育法Ⅰ	2通		4							兼1
		保健体育科教育法Ⅱ	3通		4							兼1
	小計（55科目）		－		106		7	3	2	4	1	兼6
合計（119科目）			－	52	163		7	3	2	4	1	兼16

卒業要件及び履修方法

教養科目は必修14単位を含め20単位以上、外国語科目は必修4単位を含め8単位以上、専門科目では、専門必修科目で34単位、専門選択必修スポーツ実技科目から6単位以上を含めて100単位以上を修得し、合計128単位以上を修得しなければならない。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和４年10月１日施行）の適用以前については、改正前様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
・　「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
・　「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
（専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和６年度】（新）→【令和５年度】（新）→【令和４年度】→【令和３年度】→【令和６年度】（旧）→【令和５年度】（旧）

（1）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和３年度】

・授業の進行を明確にする理由により、「学修基礎」から「学修基礎Ⅰ」に変更。これに続く授業科目として「学修基礎Ⅱ」、「学修基礎Ⅲ」、「学修基礎Ⅳ」を新規科目として追加。
・教育効果を考え、「学修基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授5」、「准教授0」から「准教授3」、「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教4」に変更。
・高教授の配置変更により、「心理学の基礎」を兼担「1」から「教授1」へ変更。
・教育効果を考え、「生理学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。清田准教授の職位変更により「講師1」から「准教授1」へ変更。
・教育効果を考え、「地域課題研究」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
・担当科目の調整のため、「FSP講座」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」へ変更。
・教育効果を考え、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教3」へ変更。
・担当科目の調整及び渡辺直勇教授の職位変更により、「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更し、「助教1」を追加。
・丸山章子教授の職位変更により、「インターンシップ実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
・担当科目の調整のため、「トレーニング論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」へ変更。
・山脇准教授の職位変更により、「体育原理」「体育史」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
・清田准教授の職位変更により、「スポーツ医学（救急処置を含む。）」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
・教育効果を考え、「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「准教授2」から「准教授3」、「講師2」から「講師1」、「助教3」から「助教4」へ変更。
・山脇准教授の職位変更により、「スポーツ実技Ⅰ（水泳）」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教2」へ変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技Ⅴ（サッカーバレーボール）」の専任教員等の配置を、「准教授0」から「准教授1」へ変更。
・丸山章子教授の職位変更により、「スポーツ実技Ⅶ（器械体操・トランポリン）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教2」へ変更。
・武石健哉准教授の就任に伴い、「スポーツ実技ⅩⅠ（卓球）」「スポーツ実技ⅩⅡ（ラグビーⅠ）」「スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更・
・安井孝志講師の就任に伴い、「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」「スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」、「助手1」から「助手0」へ変更。
・一色貴史助教の就任に伴い、「スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・教育の充実を図り、授業科目に「スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）」「スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）」を追加。
・教育効果を考え、「スポーツメディア論」の配当年次を「２前」から「２後」に変更。また、担当科目の調整のため、「教授1」から「助教1」に変更。
・棟田雅也助教の就任辞退に伴い、「スポーツマーケティング」「スポーツファイナンス」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」、兼担を「1」に変更。
・山脇あゆみ准教授の職位変更により、「スポーツ文化論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ法学」の配当年次を「3前」から「３後」に変更。
・教育効果を考え、「生命倫理」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・担当科目の調整のため、「情報活用演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・担当科目の調整のため、「海外文献購読」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
・担当科目の調整のため、「海外研修（スポーツ事情）」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ測定評価」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・丸山章子教授の職位変更により、「スポーツコンディショニング論」「スポーツコンディショニング演習Ⅰ」「スポーツコンディショニング演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
・教育内容の充実のため、「コーチング論」「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授1」「講師1」「助教2」を追加。
・教育効果を考え、「スポーツ技術・戦術論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に追加。
・渡辺直勇教授の職位変更により、「武道論」「武道演習Ⅰ」「武道演習Ⅱ」「スポーツボランティア論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・教育効果を考え、「球技論」の専任教員等の配置に「准教授1」「講師1」「助教1」を追加。
・諸江真一講師の職位変更により、「球技演習Ⅰ」「球技演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ競技の心理」「スポーツボランティア演習」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
・担当科目の調整のため、「生涯スポーツ論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツビジネス概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
・教育効果を考え、「生活習慣病概論」「病理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツトレーナー演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更
・山脇あゆみ准教授の職位変更により、「レクリエーション論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・武石健哉准教授の就任に伴い、「体力トレーニング実習」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
・渡辺直勇教授の職位変更により、「資格柔道」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・清田直恵教授の職位変更により、「健康運動演習」「健康産業施設現場研修」「健康運動演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ統計学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
・丸山章子教授及び渡辺直勇教授の職位変更に伴い、「スポーツ技術指導演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」に変更。
・安井孝志講師の就任及び諸江真一講師の職位変更に伴い、「サッカー指導演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
・教育内容の充実を図り、授業科目に「スポーツ集団の形成と社会」「オリンピックへの挑戦と指導」を追加。

【令和４年度】

・中村英里子助手の就任に伴い、「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅳ」「スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ）」「スポーツ実技Ｘ（野外スポーツ）」「情報活用演習」「コーチング演習Ⅰ」「スポーツボランティア演習」の専任教員等の配置に「助手1」を追加。
・教育効果を考え、「スポーツ統計学」を専門選択科目から専門必修科目に変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ科学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。
・兼担教員の負担軽減のため、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼担1」から「兼担0」へ変更。
・教育効果を考え、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」に専任教員を配置し、「教授1」、「准教授1」、「講師１」、「助教１」を追加。
・担当科目の調整のため、「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・担当科目の調整のため、「トレーニング論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
・教育効果を考え、「運動発達・老化学」の開講時期を「2年前期」から「2年後期」に変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教2」から「助教1」へ変更。
・専門性を高めるため「スポーツ実技Ｖ（サッカー・バレーボール）」の科目名称を「スポーツ実技Ｖ（バレーボール）」に変更。担当科目の調整により開講時期を「3年前期」から「3年後期」に変更し、中村英里子助手が後期に助教に昇進し、単独で担当する予定。
・
・担当科目の調整のため、「スポーツ実技ＸⅠ（卓球）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
・教育効果を考え、「スポーツ政策論」の開講時期を「3年後期」から「3年前期」に変更。
・教育効果を考え、「プレゼンテーション演習」の開講時期を「2年前期」から「2年後期」に変更。
・担当科目の調整のため、「海外文献購読」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教1」から「助教0」に、開講時期を「2年前期」から「2年後期」に変更。
・担当科目の調整のため、「コーチング論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師1」から「講師0」、「助教2」から「助教0」に変更。
・担当科目の調整のため「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ技術・戦術論」の開講時期を「3年前期」から「3年後期」に、専任教員等の配置に「助教1」を追加。
・担当科目の調整のため、「スポーツボランティア演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・担当科目の調整のため、「生涯スポーツ論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツビジネス概論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
・担当科目の調整のため、「スポーツトレーナー演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・担当科目の調整のため、「体力トレーニング実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教育の充実を図り、新たに「スポーツ心理学演習」を開講し、専任教員等の配置を「教授1」、「助教1」とする。
・担当科目の調整のため、「スポーツ技術指導演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
・兼任講師の負担軽減のため、「保健体育科教育法Ⅰ」と「保健体育科教育法Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「兼1」から「兼0」に変更。

【令和５年度】

・担当科目の調整により、「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」、「准教授3」から「准教授2」、「講師1」から「講師2」、「助教4」から「助教7」に変更。「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」、「准教授3」から「准教授2」、「講師1」から「講師2」、「助教4」から「助教7」、「助手1」から「助手0」に変更。
・担当科目の調整により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」、「兼担1」から「兼担2」に変更。「キャリアデザインⅡ」「キャリデザインⅢ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」、「兼担1」から「兼担2」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教1」から「助教2」に変更。
・教育効果を考え、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を教養選択科目から教養必修科目に変更。担当科目の調整により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」、「助教3」から「助教4」に変更。
・北島孟助教の職位変更及び八木かなえ助教の就任により、「トレーニング論」「スポーツトレーナー演習」「体力トレーニング実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
・菊政俊平講師の職位変更により、「スポーツ統計学」「スポーツ心理学」「スポーツ競技の心理」「スポーツ実技ⅩⅦ（野球）」「スポーツコンディショニング論」「スポーツ心理学演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
・教育効果を考え、「体育原理」を「3年前期」から「3年後期」に変更。担当科目の調整により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
・教育効果を考え、「体育史」を「3年前期」から「3年後期」に変更。担当科目の調整により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「講師0」から「講師1」、「助教0」から「助教5」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ医学（救急処置を含む。）」を「3年前期」から「3年後期」に変更。
・担当科目の調整により、「専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授3」から「准教授2」、「講師1」から「講師2」、「助教4」から「助教6」に変更。
・担当科目の調整により、「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「講師1」から「講師2」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ実技Ⅰ（水泳）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教3」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・平井敦夫兼任講師の就任に伴い、「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）」の開講時期を「3年後期」から「3年前期」に変更。中村助教の職位変更により、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手0」から「助手1」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）」の開講時期を「3年後期」から「3年前期」に変更。教育内容の充実を図り、「兼任0」から「兼任2」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）」の開講時期を「2年前期」から「2年後期」に変更。
・太田康介助教の職位変更及び担当科目の調整により、「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教2」から「助教3」、「助手1」から「助手0」に変更。
・太田康介助教の職位変更により、「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」「スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）」の専任教員等の配置に「助教1」を追加。
・山脇あゆみ准教授の退職及び菊政俊平講師の職位変更に伴い、「スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ文化論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
・教育効果の検証に伴い、「スポーツ政策論」」の開講時期を「3年前期」から「3年後期」に戻す。
・担当科目の調整により、「情報活用演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教3」、「助手1」から「助手0」に変更。
・担当科目の調整により、「海外文献講読」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
・八木かなえ助教の就任に伴い、「海外研修（スポーツ事情）」の専任教員等の配置に「助教1」を追加。
・担当科目の調整により、「コーチング演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教4」、「助手1」から「助手0」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
・担当科目の調整により、「コーチング演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツボランティア演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・教育内容の充実を図り、「競技者育成システム」の専任教員等の配置に「助教1」を追加。
・担当科目の調整により、「病理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼担0」から「兼担1」に変更。
・教育効果を考え、「レクリエーション論」の開講時期を「2年前期」から「2年後期」に変更。担当科目の調整により、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
・担当科目の調整により、「健康産業施設現場研修」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ技術指導演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・太田康介助教の職位変更及び担当科目の調整により、「サッカー指導演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・八木かなえ助教の就任に伴い、「オリンピックへの挑戦と指導」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。また、教育効果を考え、開講時期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
・教育の充実のため、「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授1」追加。

【令和６年度】

・清田直恵教授の職位変更、米澤利明教授の就任及び担当科目の調整により、「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「准教授2」から「准教授1」、「助教7」から「助教6」に変更。
・「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」に続く科目として、「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」を専門選択科目の「専攻基礎Ⅰ」「専攻基礎Ⅱ」に名称変更。
・清田直恵教授の職位変更、米澤利明教授の就任および担当科目の調整により、「キャリアデザインⅠ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」、「助教2」から「助教1」に変更。
・米澤利明教授の就任および担当科目の調整により、「キャリアデザインⅡ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師2」から「講師1」、「助教0」から「助教2」に変更。
・担当科目の調整により、「キャリアデザインⅢ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師2」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更。
・武村敏幸兼任講師の退職に伴い、「法学（日本国憲法）」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「その他1」から「その他0」に変更。
・高賢一教授の退職に伴い、「心理学の基礎」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「その他0」から「その他1」に変更。
・教育効果を考え、「経済学の基礎」の開講時期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
・清田直恵教授の職位変更により、「生理学」「スポーツ医学（救急処置を含む。）」「生活習慣病概論」「健康産業施設現場研修」「健康運動演習」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当科目の調整により、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教4」から「助教3」に変更。
・基礎的な学びの充実を図り、「スポーツ科学入門」を新規科目として開講。
・教育効果を考え、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の基幹教員等の配置を「その他3」から「その他4」に変更。
・教育効果を考え、「運動生理学」の開講時期を「1年前期」から「1年後期」に変更。
・外山寛教授の退職により、「トレーニング論」の基幹教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「その他0」から「その他1」に変更。
・教育効果を考え、「機能的解剖学」の開講時期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
・野寺巧寛講師の職位変更に伴い、「スポーツ経営管理」「体育原理」「スポーツ社会学」「スポーツ法学」「スポーツ政策論」「公務員と法」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当科目の調整により、「体育史」の基幹教員等の配置を「助教5」から「助教4」に変更。
・清田直恵教授及び野寺巧寛講師の職位変更に伴い、「専門演習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授2」から「准教授1」、「助教7」から「助教6」に変更。
・清田直恵教授及び野寺巧寛講師の職位変更、外山寛教授の退職に伴い、「専門演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「講師2」から「講師3」、「助教7」から「助教6」に変更。
・外山寛教授の退職に伴い、「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）」の開講時期を「3年前期」から「3年後期」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」の基幹教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技ⅩⅡ（ラグビーⅠ）」の開講時期を「1年前期」から「1年後期」に変更し、基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）」の開講時期を「2年前期」から「2年後期」に変更し、基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に。
・担当科目の調整により、「スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）」の基幹教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツメディア論」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「助教1」から「助教2」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ文化論」の開講時期を「3年前期」から「3年後期」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ政策論」の開講時期を「3年後期」から「3年前期」に変更。
・担当科目の調整により、「生命倫理」の基幹教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・外山寛教授の退職に伴い、「スポーツ測定評価」「運動処方」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「その他0」から「その他1」に変更。
・担当科目の調整により、「コーチング演習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教2」から「助教5」に変更。
・担当科目の調整により、「コーチング演習Ⅱ」」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教4」に変更。
・担当科目の調整のため、「球技演習Ⅰ」「球技演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツイベント企画運営」の開講時期を「3年前期」から「3年後期」に変更。
・担当科目の調整により、「スポーツビジネス概論」の基幹教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
・外山寛教授の退職に伴い、「運動生化学」「学校保健」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「その他0」から「その他1」に変更。
・教育効果を考え、「学校保健」の開講時期を「2年後期」から「2年前期」に変更。
・外山寛教授の退職に伴い、「スポーツトレーナー演習」の基幹教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・教育効果を考え、「レクリエーション論」の開講時期を「2年後期」から「2年前期」に変更。
・清田直恵教授の職位変更及び外山寛教授の退職に伴い、「健康管理演習」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・外山寛教授の退職に伴い、「スポーツ技術指導演習」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「その他1」から「その他2」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和４年10月１日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員　教授１」から「基幹教員　教授１」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合　（例：「兼任教員１」から「基幹教員以外の教員１」に変更）については、記入しないでください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
24 科目	88 科目	0 科目	112 科目	26 科目 [2]	95 科目 [7]	0 科目 [0]	121 科目 [9]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{112} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	◆共用する他の学校：金沢学院短期大学（必要面積：3,200㎡ ◆校舎敷地（共用）借用面積：18,227㎡借用期間25年 ◆その他（共用）借用面積：659㎡借用期間21年、
	校舎敷地	35,590㎡	93,122㎡	0㎡	128,712㎡	
	その他	31,610㎡	12,826㎡	0㎡	44,436㎡	
	合計	67,200㎡	105,948㎡	0㎡	173,148㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	金沢学院短期大学と併用 （必要面積：4,350㎡）
		16,341㎡ （16,341㎡）	24,241㎡ （24,241㎡）	437㎡ （437㎡）	40,919㎡ （40,919㎡）	
（3）教室・教員研究室		教室	122室	教員研究室	18 ~~19~~室	教室は大学全体 令和６年４月 基幹教員教授１名減のため（６）

（4）図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	電子図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点
	スポーツ科学部	67,358［12,756］ (64,030［12,704］)	0〔0〕 (0〔0〕)	12［0］ (12［0］)	0［0］ (0［0］)	2,152 (2,152)	0 (0)
	計	67,358［12,756］ (64,030［12,704］)	0〔0〕 (0〔0〕)	12［0］ (12［0］)	0［0］ (0［0］)	2,152 (2,152)	0 (0)

（5）スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	備考
	49,892㎡	0㎡	10,210㎡	図書は大学及び短期大学全体での共用分を含む 機械・器具、標本は大学及び短期大学全体での共用分を含む スポーツ施設等は大学全体

（6）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	共同研究費等は大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
	共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,200千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	自己資金、資産運用収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）又は（その１の３）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　「（４）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　高等専門学校については「（３）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・　国立大学については「（６）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	金沢学院大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
情報工学部	4	100	0	400	－	0.36	－	－	令和6	－				
情報工学科	4	100	0	400	学士（工学）	0.36	－	－	令和6	石川県金沢市末町１０の５番地				
経済学部	4	250	3年次 10	1020	－	1.00	－	令和6	令和2	－				
経済学科	4	160	3年次 5	650	学士（経済学）	0.93	－	令和6	令和2	同上	令和６年度から入学定員変更（110→160）			
経営学科	4	90	3年次 5	370	学士（経営学）	1.10	－	令和6	令和2	同上	令和６年度から入学定員変更（70→90）			
文学部	4	180	３年次 8	738	－	0.97	－	令和3	平成27	－				
文学科	4	180	３年次 8	738	学士（文学）	0.93	－	令和3	平成27	同上	令和3年度より入学定員変更（150→180）			
日本文学専攻	4	60	（便宜上） 4	248	学士（文学）	0.95	－	－	平成27	同上	令和3年度より入学定員変更（50→60）			
英米文学専攻	4	30	0	120	学士（文学）	0.40	－	－	平成27	同上				
歴史学・考古学専攻	4	50	（便宜上） 4	208	学士（文学）	1.06	－	－	平成27	同上	令和3年度より入学定員変更（40→50）			
心理学専攻	4	40	0	160	学士（文学）	1.21	－	－	平成27	同上	令和3年度より入学定員変更（30→40）			
教育学科	4	－	－	－	学士（教育学）	－	－	－	平成30	同上	令和４年度より学生募集停止			
教育学部	4	70	3年次 5	290	－	0.82	－	－	令和4	－				
教育学科	4	70	3年次 5	290	学士（教育学）	0.82	－	－	令和4	同上				
芸術学部	4	80	3年次 7	334	－	0.99	－	令和5	平成28	－				
芸術学科	4	80	3年次 7	334	学士（芸術学）	0.99	－	令和5	平成28	同上	令和５年度から入学定員変更（70→80） 令和５年度から編入学定員変更（2→7）			
栄養学部	4	80	3年次 5	330	－	0.99	－	－	令和3	－				
栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士（栄養学）	0.99	－	－	令和3	同上				
スポーツ科学部	4	150	3年次 10	620	－	1.09	－	－	令和3	－				
スポーツ科学科	4	150	3年次 10	620	学士（スポーツ科学）	1.09	－	－	令和3	同上				
経済情報学部	4	－	－	－	－	－	－	－	令和2	－				
経済情報学科	4	－	－	－	学士（経済情報学）	－	－	－	令和2	同上	令和６年度より学生募集停止			
経営情報学部	4	－	－	－	－	－	－	－	平成7	－				
経営情報学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	－	－	平成28	同上	令和２年度より学生募集停止			
人間健康学部	4	－	－	－	－	－	－	－	平成28	－				
スポーツ健康学科	4	－	－	－	学士（スポーツ健康学）	－	－	－	平成23	同上	令和３年度より学生募集停止			
健康栄養学科	4	－	－	－	学士（栄養学）	－	－	－	平成28	同上	令和３年度より学生募集停止			
大学全体	4	910	３年次 45	3732	－	－	－	－	－	－				

（注）・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和~~６~~７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5　教育研究実施組織の状況

＜スポーツ科学部　スポーツ科学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石村　宇佐一 （76） ＜令和３年４月＞ 教育学士	
			メンタルトレーニング論
専	教授	井筮　敬 （64） ＜令和３年４月＞ 体育学修士	
			スポーツ心理学 スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン） スポーツ測定評価
			心理学の基礎
専	教授	外山　寛 （63） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	
			学修基礎 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅲ（陸上） 情報活用演習 海外文献講読 運動処方 運動生化学 学校保健 スポーツトレーナー演習 健康管理演習 スポーツ技術指導演習
専	教授	平井　敦夫 （69） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	
			FSP講座 スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） スポーツメディア論 スポーツボランティア演習 スポーツビジネス概論

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高　賢一 （67） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	
			心理学の基礎
専	教授	外山　寛 （63） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ測定評価 スポーツ実技Ⅲ（陸上） 情報活用演習 海外文献講読 運動処方 運動生化学 学校保健 スポーツトレーナー演習 健康管理演習 スポーツ技術指導演習

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高　賢一 （68） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	
			心理学の基礎
専	教授	外山　寛 （64） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ測定評価 スポーツ実技Ⅲ（陸上） 運動処方 運動生化学 学校保健 スポーツトレーナー演習 健康管理演習 スポーツ技術指導演習

【令和５年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高　賢一 （69） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	
			心理学の基礎
専	教授	外山　寛 （65） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	
			トレーニング論 専門演習Ⅱ スポーツ測定評価 スポーツ実技Ⅲ（陸上） 運動処方 運動生化学 学校保健 スポーツトレーナー演習 健康管理演習 スポーツ技術指導演習

【令和６年度】

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
基（主専）	教授	清田　直恵 （41） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ 生理学 スポーツ医学（救急処置を含む。） 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 生活習慣病概論 健康管理演習 健康産業施設現場研修 健康運動演習 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福井　卓也 （51） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学） スポーツ科学 FSP講座 運動学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） 地域とスポーツ 情報活用演習 スポーツイベント企画運営 競技者育成システム スポーツ技術指導演習
専	教授	藤原　勝夫 （67） ＜令和３年４月＞ 教育学博士 運動生理学 健康科学 機能的解剖学 運動発達・老化学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅺ（卓球） 生命倫理 海外文献講読 スポーツトレーナー演習 健康管理演習 スポーツ技術指導演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福井　卓也 （51） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 運動学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅠ（スノースポーツ） 地域とスポーツ 情報活用演習 スポーツイベント企画運営 競技者育成システム スポーツ技術指導演習
専	教授	藤原　勝夫 （67） ＜令和３年４月＞ 教育学博士 運動生理学 健康科学 機能的解剖学 運動発達・老化学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅺ（卓球） 生命倫理 健康管理演習 スポーツ技術指導演習
専	教授	丸山　章子 （47） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ インターンシップ実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング演習Ⅰ スポーツコンディショニング演習Ⅱ メンタルトレーニング論 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福井　卓也 （52） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 運動学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅠ（スノースポーツ） 地域とスポーツ 情報活用演習 スポーツイベント企画運営 競技者育成システム スポーツ技術指導演習
専	教授	藤原　勝夫 （68） ＜令和３年４月＞ 教育学博士 運動生理学 健康科学 機能的解剖学 運動発達・老化学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅺ（卓球） 生命倫理 健康管理演習 スポーツ技術指導演習
専	教授	丸山　章子 （48） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ インターンシップ実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング演習Ⅰ スポーツコンディショニング演習Ⅱ メンタルトレーニング論 スポーツ心理学演習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福井　卓也 （53） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 運動学 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅠ（スノースポーツ） 地域とスポーツ 情報活用演習 スポーツイベント企画運営 競技者育成システム スポーツ技術指導演習
専	教授	藤原　勝夫 （69） ＜令和３年４月＞ 教育学博士 運動生理学 健康科学 機能的解剖学 運動発達・老化学 体育原理 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅺ（卓球） 生命倫理 健康管理演習 スポーツ技術指導演習
専	教授	丸山　章子 （49） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ インターンシップ実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング演習Ⅰ スポーツコンディショニング演習Ⅱ メンタルトレーニング論 スポーツ心理学演習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	福井　卓也 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 運動学 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅠ（スノースポーツ） 地域とスポーツ 情報活用演習 スポーツイベント企画運営 競技者育成システム スポーツ技術指導演習 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ
基（主専）	教授	藤原　勝夫 （70） ＜令和３年４月＞ 教育学博士 運動生理学 健康科学 機能的解剖学 運動発達・老化学 体育原理 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅺ（卓球） 生命倫理 健康管理演習 スポーツ技術指導演習
基（主専）	教授	丸山　章子 （50） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ インターンシップ実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅷ（器械体操・トランポリン） スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング演習Ⅰ スポーツコンディショニング演習Ⅱ スポーツメディア論 メンタルトレーニング論 スポーツ心理学演習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ FSP講座 地域課題研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 武道論 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ スポーツボランティア論 資格柔道 スポーツ技術指導演習
専	教授	渡辺　涼子 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 海外研修（スポーツ事情） コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 生涯スポーツ論 スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 スポーツ技術指導演習
専	准教授	丸山　章子 （47） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	スポーツ科学 インターンシップ実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅱ（器械体操・トランポリン） スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング演習Ⅰ スポーツコンディショニング演習Ⅱ スポーツ競技の心理 スポーツ技術指導演習
専	准教授	渡辺　直勇 （55） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 武道論 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ スポーツボランティア論 スポーツボランティア演習 資格柔道 スポーツ技術指導演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ FSP講座 地域課題研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 武道論 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ スポーツボランティア論 スポーツボランティア演習 資格柔道 スポーツ技術指導演習
専	教授	渡辺　涼子 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 海外研修（スポーツ事情） コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 生涯スポーツ論 スポーツボランティア演習 スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ FSP講座 地域課題研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 武道論 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ スポーツボランティア論 スポーツボランティア演習 資格柔道 スポーツ技術指導演習
専	教授	渡辺　涼子 （55） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 海外研修（スポーツ事情） コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 生涯スポーツ論 スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ FSP講座 地域課題研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 武道論 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ スポーツボランティア論 スポーツボランティア演習 資格柔道 スポーツ技術指導演習
専	教授	渡辺　涼子 （56） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 海外研修（スポーツ事情） コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 生涯スポーツ論 スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
基（主専）	教授		学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ FSP講座 地域課題研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） 武道論 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ スポーツボランティア論 スポーツボランティア演習 資格柔道 スポーツ技術指導演習 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ
基（主専）	教授	渡辺　涼子 （57） ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） スポーツメディア論 海外研修（スポーツ事情） コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 生涯スポーツ論 スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	清田　直恵 （38） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ 生理学 スポーツ医学（救急処置を含む。） 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅺ（卓球） 海外文献講読 生活習慣病概論 病理学 健康管理演習 健康産業施設現場研修 健康運動演習
専	准教授	武石　健鉉 （50） ＜令和３年４月＞ 体育学修士	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ 地域課題研究 FSP講座 コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ） スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅡ） 情報活用演習 コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 生涯スポーツ論 スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習
専	准教授	山脇　あゆみ （37） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ 体育原理 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅰ（水泳） スポーツ実技Ⅲ（陸上） スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅦ（マリンスポーツ） スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ） スポーツ文化論 レクリエーション論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	清田　直恵 （39） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ 生理学 スポーツ医学（救急処置を含む。） 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 海外文献講読 生活習慣病概論 病理学 健康管理演習 健康産業施設現場研修 健康運動演習
専	准教授	武石　健鉉 （51） ＜令和３年４月＞ 体育学修士	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ 地域課題研究 FSP講座 スポーツ科学 コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ） スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅡ） 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 スポーツトレーナー演習
専	准教授	山脇　あゆみ （38） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 体育原理 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅰ（水泳） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅦ（マリンスポーツ） スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ） スポーツ文化論 レクリエーション論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	清田　直恵 （40） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 生理学 スポーツ医学（救急処置を含む。） 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 生活習慣病概論 健康管理演習 健康産業施設現場研修 健康運動演習
専	准教授	武石　健鉉 （52） ＜令和３年４月＞ 体育学修士	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ 地域課題研究 FSP講座 トレーニング論 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ） スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅡ） 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 スポーツトレーナー演習 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼（全学）	准教授	武石　健鉉 （53） ＜令和３年４月＞ 体育学修士	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 地域課題研究 FSP講座 トレーニング論 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅠ） スポーツ実技Ⅻ（ラグビーⅡ） 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 スポーツトレーナー演習 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	清田　直恵 （38） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	生理学 トレーニング論 スポーツ医学（救急処置を含む。） 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 海外文献講読 スポーツトレーナー演習 健康管理演習 健康産業施設現場研修 健康運動演習 スポーツ統計学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	諸江　真一 （53） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	球技論 球技演習Ⅰ 球技演習Ⅱ サッカー指導演習
専	講師	安井　孝志 （61） ＜令和３年４月＞ 学士（経営）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ スポーツ科学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール） スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術指導演習 サッカー指導演習 スポーツ集団の形成と社会

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	諸江　真一 （54） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） 球技論 球技演習Ⅰ 球技演習Ⅱ サッカー指導演習
専	講師	安井　孝志 （62） ＜令和３年４月＞ 学士（経営）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ スポーツ科学 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） スポーツ技術指導演習 サッカー指導演習 スポーツ集団の形成と社会

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			菊政　俊平 （30） ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）
専	講師		学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ スポーツ統計学 スポーツ心理学 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技ⅩⅦ（野球） スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ） 海外文献講読 スポーツコンディショニング論 スポーツ競技の心理 スポーツ心理学演習 スポーツ技術指導演習
専	講師	諸江　真一 （55） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） 球技論 球技演習Ⅰ 球技演習Ⅱ サッカー指導演習
専	講師	安井　孝志 （63） ＜令和３年４月＞ 学士（経営）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ スポーツ科学 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ） スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） コーチング演習Ⅰ 球技論 球技演習Ⅰ 球技演習Ⅱ スポーツ技術指導演習 サッカー指導演習 スポーツ集団の形成と社会

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			菊政　俊平 （31） ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）
基（主専）	講師		学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ スポーツ科学入門 スポーツ統計学 スポーツ心理学 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技ⅩⅦ（野球） スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ） 海外文献講読 スポーツコンディショニング論 スポーツ競技の心理 スポーツ心理学演習 スポーツ技術指導演習 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ
			野寺　巧寛 （34） ＜令和３年４月＞ 修士（法学）
基（主専）	講師		法学（日本国憲法） スポーツ経営管理 体育原理 スポーツ社会学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ法学 スポーツ政策論 公務員と法
基（主専）	講師	諸江　真一 （56） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） 球技論 球技演習Ⅰ 球技演習Ⅱ サッカー指導演習
基（主専）	講師	安井　孝志 （64） ＜令和３年４月＞ 学士（経営）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ スポーツ科学 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ） スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） コーチング演習Ⅱ 球技論 スポーツ技術指導演習 サッカー指導演習 スポーツ集団の形成と社会 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	山脇　あゆみ （37） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	体育原理 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅰ（水泳） スポーツ実技Ⅲ（陸上） スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ文化論 レクリエーション論 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習
専	助教	一色　貴史 （30） ＜令和３年４月＞ 修士（コーチング学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ FSP講座 スポーツ科学 コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツⅩⅥ（バスケットボール） 情報活用演習 コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 球技論 スポーツトレーナー演習 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習
専	助教	一色　貴史 （31） ＜令和３年４月＞ 修士（コーチング学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ FSP講座 コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツⅩⅥ（バスケットボール） プレゼンテーション演習 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 球技論 スポーツビジネス概論 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習
専	助教	一色　貴史 （32） ＜令和３年４月＞ 修士（コーチング学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ FSP講座 コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツⅩⅥ（バスケットボール） プレゼンテーション演習 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 球技論 スポーツビジネス概論 スポーツ技術指導演習
専	助教	太田　康介 （40） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 体育史 専門演習Ⅰ スポーツ実技Ⅰ（水泳） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） 情報活用演習 スポーツボランティア演習 競技者育成システム サッカー指導演習
兼（主等）	助教	一色　貴史 （33） ＜令和３年４月＞ 修士（コーチング学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ FSP講座 コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツⅩⅥ（バスケットボール） プレゼンテーション演習 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツ技術・戦術論 球技論 スポーツビジネス概論 スポーツ技術指導演習 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ
兼（主等）	助教	太田　康介 （41） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅰ（水泳） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） スポーツメディア論 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ スポーツボランティア演習 競技者育成システム サッカー指導演習 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	菊政　俊平 （28） ＜令和３年４月＞ 博士（体育学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ スポーツ統計学 スポーツ心理学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツ実技ⅩⅦ（野球） スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ） 海外文献購読 スポーツコンディショニング論 スポーツ競技の心理 スポーツ技術指導演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	野寺　巧寛 （31） ＜令和３年４月＞ 修士（法学） 学修基礎 地域課題研究 スポーツ社会学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ法学 スポーツ政策論 プレゼンテーション演習 海外研修（スポーツ事情） 公務員と法 スポーツ技術指導演習	専	助教	野寺　巧寛 （31） ＜令和３年４月＞ 修士（法学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ スポーツ経営管理 スポーツ社会学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅲ（陸上） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツビジネス概論 スポーツメディア論 生命倫理 スポーツ法学 スポーツ政策論 プレゼンテーション演習 公務員と法	専	助教	野寺　巧寛 （32） ＜令和３年４月＞ 修士（法学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ スポーツ経営管理 スポーツ社会学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅲ（陸上） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツビジネス概論 スポーツメディア論 生命倫理 スポーツ法学 スポーツ政策論 公務員と法	専	助教	野寺　巧寛 （33） ＜令和３年４月＞ 修士（法学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ スポーツ経営管理 体育原理 体育史 スポーツ社会学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅲ（陸上） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） スポーツビジネス概論 スポーツメディア論 生命倫理 スポーツ法学 スポーツ政策論 公務員と法			
		藤本　索子 （40） ＜令和３年４月＞ 学士（体育学）	専	助教	藤本　索子 （40） ＜令和３年４月＞ 学士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ スポーツ科学 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール） スポーツ技術・戦術論 コーチング論 コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 スポーツボランティア演習 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習 スポーツ実技Ⅲ（陸上） オリンピックへの挑戦と指導	専	助教	藤本　索子 （41） ＜令和３年４月＞ 学士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ スポーツ科学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール） コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ	専	助教	藤本　索子 （42） ＜令和３年４月＞ 学士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ キャリアデザインⅠ スポーツ科学 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール） コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ	専（主専）	助教	藤本　索子 （43） ＜令和３年４月＞ 学士（体育学） 学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ スポーツ科学 体育史 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅲ（陸上） スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール） コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ 球技論 健康産業施設現場研修 スポーツ技術指導演習 オリンピックへの挑戦と指導 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ
専	助教	棟田　雅也 （31） ＜令和３年４月＞ 修士（スポーツ科学） スポーツ経営管理 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技Ⅰ（水泳） スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール） スポーツ実技ⅩⅦ（野球） スポーツマーケティング スポーツファイナンス 情報活用演習 生涯スポーツ論 スポーツ技術指導演習												
兼担	助教	諸江　真一 （53） ＜令和３年４月＞ 経済学士 学修基礎 スポーツ科学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） スポーツ技術・戦術論 球技論 球技演習Ⅰ 球技演習Ⅱ スポーツ技術指導演習 サッカー指導演習												

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助手	清瀬　一剛 （53） ＜令和３年４月＞ 高等学校	スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ） スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ） サッカー指導演習
兼担	教授	岡田　政則 （63） ＜令和３年４月＞ 博士（情報科学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
兼担	教授	笠間　弘美 （63） ＜令和３年４月＞ 英語教授法学修士（MATESL）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	教授	川村　美笑子 （72） ＜令和３年４月＞ 農学博士	スポーツ栄養学
兼担	教授	樫田　惣太郎 （56） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	スポーツ医学（救急処理を含む。） 生活習慣病概論 衛生・公衆衛生学 病理学 健康管理演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助手	太田　康介 （38） ＜令和３年４月＞ 学士（法学）	サッカー指導演習
兼担	教授	大野　尚弘 （51） ＜令和３年４月＞ 博士（商学）	スポーツマーケティング
兼担	教授	岡田　政則 （63） ＜令和３年４月＞ 博士（情報科学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
兼担	教授	小田　圭一郎 （56） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	スポーツファイナンス
兼担	教授	川村　美笑子 （72） ＜令和３年４月＞ 農学博士	スポーツ栄養学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助手	太田　康介 （39） ＜令和３年４月＞ 学士（法学）	サッカー指導演習
専	助手	中村　英里子 （32） ＜令和４年４月＞ 学士（体育）	学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅳ スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ） スポーツ実技Ⅴ（バレーボール） スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ） 情報活用演習 コーチング演習Ⅰ スポーツボランティア演習
兼担	教授	大野　尚弘 （52） ＜令和３年４月＞ 博士（商学）	スポーツマーケティング
兼担	教授	小田　圭一郎 （57） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	スポーツファイナンス
兼担	教授	川村　美笑子 （73） ＜令和３年４月＞ 農学博士	スポーツ栄養学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			八木　かなえ （30） ＜令和５年４月＞ 学士（スポーツ健康学）
専	助教		学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 学修基礎Ⅲ 学修基礎Ⅳ トレーニング論 専門演習Ⅰ 海外研修（スポーツ事情） コーチング演習Ⅰ スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 オリンピックへの挑戦と指導
兼担	教授	大野　尚弘 （53） ＜令和３年４月＞ 博士（商学）	スポーツマーケティング
兼担	教授	小田　圭一郎 （58） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	スポーツファイナンス
兼担	教授	川村　美笑子 （74） ＜令和３年４月＞ 農学博士	スポーツ栄養学
兼担	教授	小林　勝義 （65） ＜令和５年４月＞ 医学士	スポーツ医学（救急処置を含む） 生活習慣病概論 病理学 健康管理演習

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
			八木　かなえ （31） ＜令和５年４月＞ 学士（スポーツ健康学）
基（主専）	助教		学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ トレーニング論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ スポーツメディア論 海外研修（スポーツ事情） コーチング演習Ⅰ コーチング演習Ⅱ スポーツトレーナー演習 体力トレーニング実習 オリンピックへの挑戦と指導 専攻基礎Ⅰ 専攻基礎Ⅱ
基（専）	教授	米澤　利明 （71） ＜令和６年４月＞ 教育学修士	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
その他	教授	大野　尚弘 （54） ＜令和３年４月＞ 博士（商学）	スポーツマーケティング
その他	教授	小田　圭一郎 （59） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	スポーツファイナンス
その他	教授	川村　美笑子 （75） ＜令和３年４月＞ 農学博士	スポーツ栄養学
その他	教授	小林　勝義 （66） ＜令和５年４月＞ 医学士	スポーツ医学（救急処置を含む） 生活習慣病概論 病理学 健康管理演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	高　賢一 （67） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	心理学の基礎
兼担	教授	根本　博 （75） ＜令和３年４月＞ 学士（経済学）	経済学の基礎
兼担	准教授	中村　直行 （56） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学
兼担	准教授	ロバート・カニンガム （53） ＜令和３年４月＞ Bachelor of Arts, Psycology（米国）	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼担	講師	林　文慧 （63） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	根本　博 （75） ＜令和３年４月＞ 学士（経済学）	経済学の基礎
兼担	教授	渡邊　琢夫 （60） ＜令和３年４月＞ 医学博士	スポーツ医学（救急処置を含む） 生活習慣病概論 健康管理演習
兼担	准教授	小里　千寿 （58） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
兼担	准教授	階戸　陽太 （52） ＜令和３年４月＞ 博士（教育学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	准教授	中村　直行 （56） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学
兼担	講師	高島　彬 （34） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼担	講師	林　文慧 （63） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	根本　博 （76） ＜令和３年４月＞ 学士（経済学）	経済学の基礎
兼担	教授	渡邊　琢夫 （61） ＜令和３年４月＞ 医学博士	スポーツ医学（救急処置を含む） 生活習慣病概論 健康管理演習
兼担	准教授	中村　直行 （57） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学
兼担	講師	嶋村　賢志 （42） ＜令和４年４月＞ Ph.D. in Linguistics	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼担	講師	林　文慧 （64） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	講師	宮永　龍一朗 （39） ＜令和４年４月＞ 博士（史学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	士農　力 （56） ＜令和５年４月＞ 芸術学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
兼担	教授	根本　博 （77） ＜令和３年４月＞ 学士（経済学）	経済学の基礎
兼担	准教授	中村　直行 （58） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学
兼担	講師	嶋村　賢志 （43） ＜令和４年４月＞ Ph.D. in Linguistics	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼担	講師	宮永　龍一朗 （40） ＜令和４年４月＞ 博士（史学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
その他	教授	士農　力 （57） ＜令和５年４月＞ 芸術学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
その他	准教授	小西　尚之 （51） ＜令和６年４月＞ 修士（教育学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	准教授	中村　直行 （59） ＜令和３年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学
その他	講師	板垣　真任 （33） ＜令和６年４月＞ 修士（文学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	島谷部　智規 （29） ＜令和６年４月＞ 修士（経済学）	経済学の基礎
その他	講師	水橋　維介 （35） ＜令和６年４月＞ 博士（人間科学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	山岸　由美子 （68） ＜令和３年４月＞ 文学士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	梶本　逸子 （74） ＜令和３年４月＞ 文学士	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	北村　欣也 （34） ＜令和３年４月＞ 学士（スポーツ健康学）	スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）
兼任	講師	小里　千寿 （58） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
兼任	講師	宋　有宰 （55） ＜令和３年４月＞ 文学博士	朝鮮語Ⅰ 朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	高木　香代子 （57） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	スポーツ実技Ⅵ（ダンス）
兼任	講師	武村　敏幸 （67） ＜令和３年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）
兼任	講師	野村　倫成 （40） ＜令和３年４月＞ 修士（武道・スポーツ）	スポーツ実技ⅩⅡ（ラグビーⅠ） スポーツ実技ⅩⅢ（ラグビーⅡ）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大西　孝司 （73） ＜令和３年４月＞ 医学博士	衛生・公衆衛生学
兼任	講師	梶本　逸子 （74） ＜令和３年４月＞ 文学士	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	宋　有宰 （55） ＜令和３年４月＞ 文学博士	朝鮮語Ⅰ 朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	高木　香代子 （57） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	スポーツ実技Ⅵ（ダンス） スポーツ技術指導演習
兼任	講師	武村　敏幸 （67） ＜令和３年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大西　孝司 （74） ＜令和３年４月＞ 医学博士	衛生・公衆衛生学
兼任	講師	小里　千寿 （59） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
兼任	講師	宋　有宰 （56） ＜令和３年４月＞ 文学博士	朝鮮語Ⅰ 朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	高木　香代子 （58） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	スポーツ実技Ⅵ（ダンス） スポーツ技術指導演習
兼任	講師	武村　敏幸 （68） ＜令和３年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	浦部　隼希 （35） ＜令和５年４月＞ 修士（体育科学）	スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）
兼任	講師	大西　孝司 （75） ＜令和３年４月＞ 医学博士	衛生・公衆衛生学
兼任	講師	小里　千寿 （60） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
兼任	講師	宋　有宰 （57） ＜令和３年４月＞ 文学博士	朝鮮語Ⅰ 朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	高木　香代子 （59） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	スポーツ実技Ⅵ（ダンス） スポーツ技術指導演習
兼任	講師	武村　敏幸 （69） ＜令和３年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	浦部　隼希 （36） ＜令和５年４月＞ 修士（体育科学）	スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）
その他	講師	大西　孝司 （76） ＜令和３年４月＞ 医学博士	衛生・公衆衛生学
その他	講師	小里　千寿 （61） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
その他	講師	小林　花代 （59） ＜令和６年４月＞ 文学士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
その他	講師	宋　有宰 （58） ＜令和３年４月＞ 文学博士	朝鮮語Ⅰ 朝鮮語Ⅱ
その他	講師	高　賢一 （70） ＜令和６年４月＞ 修士（教育学）	心理学の基礎
その他	講師	高木　香代子 （60） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）	スポーツ実技Ⅵ（ダンス） スポーツ技術指導演習
その他	講師	外山　寛 （66） ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	トレーニング論 スポーツ測定評価 運動処方 運動生化学 学校保健 健康管理演習 スポーツ技術指導演習
その他	講師	櫛高　朱里 （28） ＜令和５年４月＞ 修士（スポーツ健康学）	スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道） スポーツトレーナー演習
その他	講師	林　文慧 （66） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
その他	講師	平井　敦夫 （72） ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	スポーツ実技Ⅷ（テニス・バドミントン）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本　憲雄 （74） ＜令和３年４月＞ MBA（観光学）（米国）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	山本　裕太 （36） ＜令和３年４月＞ 修士（教育学）
		保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 安田　寛子 （65） ＜令和３年４月＞ Master of Arts（米国）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	吉本　恵伸子 （74） ＜令和３年４月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 安田　寛子 （66） ＜令和３年４月＞ Master of Arts（米国）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	吉本　恵伸子 （75） ＜令和３年４月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 安田　寛子 （67） ＜令和３年４月＞ Master of Arts（米国）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	吉本　恵伸子 （76） ＜令和３年４月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ

教員区分	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
その他	講師	担当授業科目名 安田　寛子 （68） ＜令和３年４月＞ Master of Arts（米国）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
その他	講師	吉本　恵伸子 （77） ＜令和３年４月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）（その２の２）（その２の３）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
改正後大学設置基準等（令和４年10月１日施行）の適用以前については、改正前様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）
（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」
（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
・　改正後大学設置基準等（令和４年10月１日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。　（大学院、高等専門学校は除く）
・　教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）
の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和３年度】

・石村宇佐一教授の就任辞退に伴い、担当科目「メンタルトレーニング論」を丸山章子教授の担当に変更。
・井筧敬教授の就任辞退に伴い、担当科目「スポーツ心理学」を菊政俊平助教の担当、「スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）」を福井卓也教授の担当、「スポーツ測定評価」を外山寛教授の担当に変更。
・髙賢一教授が専任として就任。担当科目は「心理学の基礎」。
・「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」の科目追加に伴い、外山寛教授、福井卓也教授、丸山章子教授、渡辺涼子教授、渡辺直勇教授、武石健哉准教授、清田直恵准教授、山脇あゆみ准教授、安井孝志講師、一色貴史助教、菊政俊平助教、野寺巧寛助教、藤本索子助教の担当に追加。
・平井敦夫教授の就任辞退に伴い、担当科目「スポーツメディア論」「スポーツビジネス概論」を野寺巧寛助教の担当、「スポーツボランティア演習」を渡辺涼子教授と藤本索子助教の担当に変更。
・教育効果を考え、福井卓也教授に「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を追加。また、新たに科目追加となった「スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）」を追加。これに伴い、「スポーツ科学」「FSP講座」を外す。
・担当科目の調整のため、藤原勝夫教授の担当科目から「海外文献購読」「スポーツトレーナー演習」を外す。
・丸山章子准教授が教授に昇格。担当科目に新規追加科目「オリンピックへの挑戦と指導」を追加し、「スポーツ科学」「スポーツ競技の心理」を外す。
・渡辺直勇准教授が教授に昇格。担当科目に「FSP講座」「地域課題研究」を追加し、「スポーツボランティア演習」を外す。
・渡辺涼子教授に新規科目「オリンピックへの挑戦と指導」を追加し、さらに担当科目の調整のため、「スポーツボランティア演習」を追加。
・清田直恵講師が准教授に昇格。担当科目の調整のため、「スポーツ実技Ⅸ（卓球）」「生活習慣病概論」「病理学」を追加し、「トレーニング論」「スポーツトレーナー演習」「スポーツ統計学」を外す。
・武石健哉准教授が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」「FSP講座」「地域課題研究」「トレーニング論」「生涯スポーツ論」「球技論」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「スポーツ実技Ⅶ（ラグビーⅠ）」「スポーツ実技Ⅶ（ラグビーⅡ）」「コーチング論」「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」「情報活用演習」「スポーツトレーナー演習」「体力トレーニング実習」。これに伴い、野村倫成兼任講師の担当科目「スポーツ実技Ⅶ（ラグビーⅠ）」「スポーツ実技Ⅶ（ラグビーⅡ）」を外す。
・山脇あゆみ講師が准教授に昇格。新規科目「スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）」「スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）」を追加し、「健康産業施設現場研修」「スポーツ技術指導演習」を外す。
・諸江真一助教が講師に昇格。学位を修士（スポーツ健康学）に変更。担当科目の調整のため、「学修基礎」「スポーツ科学」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」「スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）」「スポーツ技術・戦術論」「スポーツ技術指導演習」を外す。
・安井孝志講師が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」「スポーツ科学」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「スポーツ集団の形成と社会」「コーチング論」「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」「スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ）」「スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール）」「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」「スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）」「スポーツ技術指導演習」「サッカー指導演習」。
・一色貴史助教が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」「スポーツ科学」「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」「FSP講座」「球技論」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）」「スポーツ技術・戦術論」「コーチング論」「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」「スポーツトレーナー演習」「健康産業施設現場研修」「情報活用演習」「スポーツ技術指導演習」。これに伴い、北村欣也兼任講師の担当科目「スポーツ実技ⅩⅥ（バスケットボール）」を外す。
・菊政俊平助教が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」「スポーツ統計学」「スポーツ心理学」「海外文献購読」「スポーツコンディショニング論」「スポーツ競技の心理」「スポーツ心理学演習」「スポーツ技術指導演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）」「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」「スポーツ実技ⅩⅦ（野球）」。
・担当科目の調整のため、野寺巧寛助教の担当科目に「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」「生命倫理」を追加し、「海外研修（スポーツ事情）」「スポーツ技術指導演習」を外す。
・藤本索子助教が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」「スポーツ科学」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「オリンピックへの挑戦と指導」「球技論」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「スポーツ技術・戦術論」「コーチング論」「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」「スポーツボランティア演習」「健康産業施設現場研修」「スポーツ技術指導演習」「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」「スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）」。
・棟田雅也助教の就任辞退に伴い、担当科目「スポーツ経営管理」を野寺巧寛助教、「スポーツマーケティング」を大野尚弘兼担教授、「スポーツファイナンス」を小田圭一郎兼担教授の担当に変更。
・清瀬一剛助手の就任辞退に伴い、太田康介助手が就任。担当科目は「サッカー指導演習」。
・笠間弘美兼担教授、山本憲雄兼任講師の就任辞退に伴い、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の担当を階戸陽太兼担准教授及び吉本恵律子兼任講師の担当に変更。
・櫻田惣太郎兼担教授の就任辞退に伴い、担当科目「スポーツ医学（救急処置を含む。）」「生活習慣病概論」「健康管理演習」を渡邉琢夫兼担教授、「病理学」を清田直恵准教授、「衛生・公衆衛生学」を大西孝司兼任講師の担当に変更。
・小里千寿兼担講師が准教授に職位変更。
・ロバート・カニンガム兼担教授及び山岸由美子兼担講師の就任辞退により、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の担当を髙島彬兼担講師及び安田寛子兼任講師の担当に変更。
・教育内容の充実を図り、髙木香代子兼任講師の担当科目に「スポーツ技術指導演習」を追加。

【令和４年度】

・兼担教員の負担軽減のため、岡田政則兼担教授の担当科目「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を福井卓也教授、武石健哉准教授、一色貴史助教、菊政俊平助教、野寺巧寛助教の担当に変更。
・階戸陽太兼担准教授及び梶本逸子兼任講師の退職に伴い、担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を嶋村貢志兼任講師と宮永隆一朗兼任講師の担当に変更。
・兼担教員の担当科目の調整により、髙島彬兼担講師の担当科目「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」を嶋村貢志兼任講師の担当科目に変更。
・教育効果及び兼任教員の負担を考慮し、山本裕太兼任講師の担当科目「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」を藤本索子助教の担当科目に変更。
・教育効果および担当科目の調整を考え、専任教員の担当を下記の様に変更。
　福井卓也教授　　：担当科目に「キャリアデザインⅠ」を追加。
　外山　寛教授　　：担当科目から「海外文献講読」、「情報活用演習」を外し、「トレーニング論」を追加。
　渡辺涼子教授　　：担当科目から、「スポーツボランティア演習」を外し、担当科目に「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　丸山章子教授　　：担当科目に「スポーツ心理学演習」を追加。
　渡辺直勇教授　　：担当科目に「スポーツボランティア演習」を追加。
　清田直恵准教授　：担当科目から「スポーツ実技Ⅺ（卓球）」を外し、「キャリアデザインⅠ」を追加。
　武石健哉准教授　：担当科目から「生涯スポーツ論」、「コーチング論」、「体力トレーニング実習」を外し、「スポーツ科学」を追加。
　山脇あゆみ准教授：担当科目から「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」、「スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール）」を外し、「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　諸江真一講師　　：担当科目に「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」を追加。
　安井孝志講師　　：担当科目から「コーチング論」、「コーチング演習Ⅰ・Ⅱ」、「スポーツ実技Ⅴ（サッカー・バレーボール）」、「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」を外し、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「キャリアプランニングⅠ・Ⅱ」を追加。
　菊政俊平助教　　：担当科目から「海外文献講読」、「スポーツ技術指導演習」を外し、「スポーツ心理学演習」を追加。
　藤本索子助教　　：担当科目から「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」、「キャリアプランニングⅠ・Ⅱ」、「スポーツ技術・指導論」、「スポーツボランティア演習」、「コーチング論」を外し、「キャリアデザインⅠ」を追加。
　野寺巧寛助教　　：担当科目から「プレゼンテーション演習」を外し、「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　一色貴史助教　　：担当科目から「スポーツ科学」、「コーチング論」、「スポーツトレーナー演習」を外し、「スポーツビジネス概論」「プレゼンテーション演習」「キャリアプランニングⅠ・Ⅱ」を追加。
・中村英里子助手が就任。担当科目は「スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）」「学修基礎Ⅱ・Ⅳ」、「スポーツ実技Ⅱ（体つくり・ニュースポーツ）」、「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」、「情報活用演習」、「コーチング演習Ⅰ」、「スポーツボランティア演習」。

【令和５年度】

・菊政俊平助教が講師に昇格。
・太田康介助手が助教に昇格。
・北島　孟助教が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「スポーツトレーナー演習」「スポーツ実技Ⅰ（水泳）」「スポーツ実技Ⅲ（陸上）」「トレーニング論」「情報活用演習」「体力トレーニング実習」「専門演習Ⅰ」。
・中村英里子助手が助教に昇格。
・八木かなえ助教が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「スポーツトレーナー演習」「トレーニング論」「体力トレーニング実習」「専門演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅰ」「オリンピックへの挑戦と指導」「海外研修（スポーツ事情）」。
・小林勝義兼担教授が就任。渡邊琢夫兼担教授の担当科目「スポーツ医学（救急処置を含む。）」「生活習慣病概論」「健康管理演習」の担当を小林教授に変更。また、清田直恵准教授の担当科目「病理学」の担当を変更。
・士農　力兼担教授が就任。担当科目は「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ」。
・林文慧兼担講師の退職に伴い、職位を兼任講師に変更。
・浦部隼希兼任講師が就任。担当科目は「スポーツ実技XIII（柔道・剣道）」。
・橋高朱里兼任講師が就任。担当科目は「スポーツ実技XIII（柔道・剣道）」「スポーツトレーナー演習」「コーチング演習Ⅰ・Ⅱ」。
・平井敦夫兼任講師が就任。担当科目は「スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）」。
・山脇あゆみ准教授の退職に伴い、担当科目「体育原理」を藤原勝夫教授、野寺巧寛助教の担当に、「体育史」を福井卓也教授、藤原勝夫教授、武石健哉准教授、一色貴史助教、菊政俊平講師、野寺巧寛助教、藤本索子助教、太田康介助教、中村英里子助教の担当に、「スポーツ文化論」、「レクリエーション論」を中村英里子助教の担当に、「スポーツ実技Ⅰ（水泳）」を太田康介助教、中村英里子助教、北島孟助教の担当に、「スポーツ実技XIX（スノースポーツ）」を福井卓也教授、中村英里子助教の担当に、それぞれ変更。
・教育効果および担当科目の調整を考え、専任教員の担当を下記の様に変更。
　外山　寛教授　　：担当科目から「学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「専門演習Ⅰ」を外す。
　福井卓也教授　　：担当科目から「キャリアデザインⅠ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）」を外し、
　　「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」「スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ）」を追加。
　渡辺涼子教授　　：担当科目から「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を外し、担当科目に「キャリアデザインⅠ」を追加。
　清田直恵准教授　：担当科目から「キャリアデザインⅠ」「海外文献購読」「病理学」を外し、「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　武石健哉准教授　：担当科目から「スポーツ科学」、「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、「体力トレーニング実習」を外し、「キャリアデザインⅠ」、
　　「保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ」を追加。
　菊政俊平講師　　：担当科目から「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」「キャリアデザインⅠ」を外し、「海外文献講読」、
　　「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」「スポーツ技術指導演習」を追加。
　安井孝志講師　　：担当科目に「スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）」「球技論」「球技演習Ⅰ」「球技演習Ⅱ」「コーチング演習Ⅰ」を追加。
　一色貴史助教　　：担当科目から「健康産業施設現場研修」を外し、「キャリアデザインⅠ」を追加。
　野寺巧寛助教　　：担当科目から「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を外す。
　中村英里子助教　：担当科目から「スポーツボランティア演習」、「情報活用演習」を外し、「学修基礎Ⅰ・Ⅲ」「スポーツ科学」「専門演習Ⅰ・Ⅱ」
　　「スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）「コーチング演習Ⅱ」を追加。
　太田康介助教　　：担当科目に「学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「スポーツ実技Ⅰ（水泳）」
　　「スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）」「スポーツ実技XIV（サッカーⅠ）」「スポーツ実技XIV（サッカーⅡ）」
　　「スポーツボランティア演習」「競技者育成システム」「情報活用演習」「専門演習Ⅰ」を追加。

【令和６年度】

・清田直恵准教授が教授に昇格。
・野寺巧寛助教が講師に昇格。
・高賢一教授が退職。その他講師として引き続き「心理学の基礎」を担当。
・外山寛教授の退職。その他講師として引き続き「トレーニング論」「スポーツ測定評価」「運動処方」「運動生化学」「学校保健」「健康管理演習」「スポーツ技術指導演習」を担当。
・米澤利明教授が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」。
・根本博兼担教授が退職。担当科目「経済学の基礎」は鳥谷部智規その他講師が担当。
・宮永隆一朗兼担講師、嶋村貢志兼担講師が退職。担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は小西尚之その他准教授、板垣真任その他講師、水橋雄介その他講師が、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」は小林花代その他講師が担当。
・武村敏幸兼任講師が退職。担当科目「法学（日本国憲法）」は野寺巧寛講師が担当。
・「学修基礎Ⅲ」「学修基礎Ⅳ」の科目名称変更により、担当者の科目名を「専攻基礎Ⅰ」「専攻基礎Ⅱ」に変更。
・教育効果および担当科目の調整を考え、基幹教員の担当を下記の様に変更。
　福井卓也教授　　：担当科目から「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を外し、「キャリアデザインⅠ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を追加。
　丸山章子教授　　：担当科目に「スポーツメディア論」を追加。
　渡辺涼子教授　　：担当科目から「キャリアデザインⅠ」を外し、「スポーツメディア論」「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　武石健哉准教授　：担当科目から「キャリアデザインⅠ」を外し、「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　菊政俊平講師　　：担当科目から「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を外し、「スポーツ科学入門」を追加。
　安井孝志講師　　：担当科目から「コーチング演習Ⅰ」「球技演習Ⅰ・Ⅱ」「専門演習Ⅰ」を外し、「コーチング演習Ⅱ」を追加。
　一色貴史助教　　：担当科目から「キャリアデザインⅠ」を外し、「キャリアデザインⅡ・Ⅲ」を追加。
　太田康介助教　　：担当科目に「専門演習Ⅱ」「コーチング演習Ⅰ」「スポーツメディア論」を追加。
　北島　孟助教　　：担当科目に「専門演習Ⅱ」「スポーツ実技XII（ラグビーⅠ）」「スポーツ実技XIII（ラグビーⅡ）」「スポーツ実技XIV（スノースポーツ）」を追加。
　藤本索子助教　　：担当科目に「スポーツ実技Ⅲ（陸上」を追加。
　八木かなえ助教　：担当科目に「キャリアデザインⅡ」「専門演習Ⅱ」「スポーツメディア論」「コーチング演習Ⅱ」を追加。
・その他教員の負担軽減のため、橋高朱里その他講師の担当科目から「コーチング演習Ⅰ」「コーチング演習Ⅱ」を外す。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合**は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和３年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 基幹教員数等

（注）・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）ー① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
14 名	7 名	11 名

（注）・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）ー② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基(主専)」及び「基(専)」の計）（A”）	助手（A’）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基(主専)」及び「基(専)」の計）（B”）	助手（B’）
7	2	2	3	14	—	1	7	1	4	6	18	18	4
(7)	(3)	(2)	(4)	(16)	(ー)	(1)							

現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基(主専)」及び「基(専)」の計）（C”）	助手（C’）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基(主専)」及び「基(専)」の計）（D”）	助手（D’）
7	1	4	6	18	18	4	7	1	4	6	18	18	4
[0]	[△1]	[2]	[3]	[4]	[—]	[3]	[0]	[△1]	[2]	[3]	[4]	[—]	[3]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基ー」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A”）」欄には「ー」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授 65 教授以外 60 歳	3 名	3 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{18}{14} = \boxed{128.57}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C”）}}{\text{設置時の計画（A”）}} = \frac{18}{—} = \boxed{-}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{18} = \boxed{16.66}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C’）}}{\text{設置時の計画（A’）}} = \frac{4}{1} = \boxed{400}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 基幹（専任）教員辞任等の理由

（３）－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	石村　宇佐一	R3.3	選択	メンタルトレーニング論	①	R3.3自己都合のため就任辞退（３）
2	教授	井筧　敬	R3.3	必修	スポーツ心理学	①	R3.3自己都合のため就任辞退（３）
				選択	スポーツ実技Ⅳ（テニス・バドミントン）	①	
				選択	スポーツ測定評価	②	
3	教授	平井　敦夫	R3.3	選択	FSP講座	①	R3.3自己都合のため就任辞退（３）
				選択	スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	①	
				選択	スポーツメディア論	①	
				選択	スポーツボランティア演習	①	
				選択	スポーツビジネス概論	①	
4	助教	棟田　雅也	R3.3	必修	スポーツ経営管理	①	R3.3自己都合のため就任辞退（３）
				必修	専門演習Ⅰ	①	
				必修	専門演習Ⅱ	①	
				選択	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	①	
				選択	スポーツ実技Ⅱ（体づくり・ニュースポーツ）	①	
				選択	スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	①	
				選択	スポーツ実技ⅩⅦ（野球）	①	
				選択	スポーツマーケティング	②	
				選択	スポーツファイナンス	②	
				選択	情報活用演習	①	
				選択	生涯スポーツ論	①	
				選択	スポーツ技術指導演習	①	
5	助手	清瀬　一剛	R3.3	選択	スポーツ実技ⅩⅣ（サッカーⅠ）	①	R3.3自己都合のため就任辞退（３）
				選択	スポーツ実技ⅩⅤ（サッカーⅡ）	①	
				選択	サッカー指導演習	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
5　人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	20	科目	選択	17	科目	選択	3	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	24	科目	計	21	科目	計	3	科目	計	0 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	山脇　あゆみ	R5.3	必修	学修基礎Ⅰ	①	R5.3.31付け自己都合のため辞任（５）
				選択	学修基礎Ⅱ	①	
				選択	学修基礎Ⅲ	③	
				選択	学修基礎Ⅳ	③	
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				必修	キャリアデザインⅢ	①	
				必修	体育原理	①	
				必修	体育史	①	
				必修	専門演習Ⅰ	①	
				必修	専門演習Ⅱ	①	
				選択	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	①	
				選択	スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	①	
				選択	スポーツ実技ⅩⅧ（マリンスポーツ）	①	
				選択	スポーツ実技ⅩⅨ（スノースポーツ）	①	
				選択	スポーツ文化論	①	
				選択	レクリエーション論	①	
2	教授	高　賢一	R6.3	選択	心理学の基礎	②	R6.3.31付け自己都合のため辞任（６）

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	10	科目	選択	7	科目	選択	1	科目	選択	2 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	17	科目	計	14	科目	計	1	科目	計	2 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員** について、記入してください。
（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
7　人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	30	科目	選択	24	科目	選択	4	科目	選択	2 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	41	科目	計	35	科目	計	4	科目	計	2 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{7}{14} = 50\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和５年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・令和６年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	外山　寛	必修	トレーニング論	①	R6.3.31付付け65歳で定年退職（６）
			必修	専門演習Ⅱ	①	
			選択	スポーツ実技Ⅲ（陸上）	①	
			選択	スポーツ測定評価	②	
			選択	運動処方	②	
			選択	運動生化学	②	
			選択	学校保健	②	
			選択	スポーツトレーナー演習	①	
			選択	健康管理演習	①	
			選択	スポーツ技術指導演習	①	

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1 人	必修	2	科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	8	科目	選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	10	科目	計	6 科目	計	4 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年3月に就任辞退した5名については、本人のやむを得ない事情により辞任することとなったと理解している。後任の専任教員については、心理学を専門とする教授1名、コーチング学を専門とする教授1名、コーチング論とマネジメントスキルを専門とする講師1名、スポーツ心理学を専門とする助教1名、コーチング学を専門とする助教1名、ソフトボールに関するスポーツ科学を専門とする助教1名、サッカーに関するスポーツ科学を専門とする助手1名を任用している。
令和5年3月に辞任した1名についても、本人のやむを得ない事情により辞任することとなったと理解している。後任の専任教員については、スポーツ健康科学を専門とする助教１名、スポーツ健康学を専門とする助教１名を任用している。
令和6年3月に辞任した2名については、定年等年齢的な事情により辞任することとなった。2名はいずれも引き続きその他講師として、担当科目を受け持っている。
このように、専任教員の辞任による学生の履修に関する不都合は生じていないと考える。また、教員が辞任することについては、学生便覧やシラバス等を適切に修正し周知徹底を行っており、学生が混乱することはなかったと考えている。

（注）・　上記（３）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、
今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和２年）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	【届出】 遵守事項	今後、任期満了あるいは定年等により60歳代の熟練教員が退職する令和6年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授又は講師を採用することとし、実力ある教員を登用していきたい。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(5) 昨年度、60歳代の専任教員が2名退職し、50歳代の教授及び30～40歳代の講師・助教が中心となり、年齢構成が偏らない教員組織編制ができつつある。（６）	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳代以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度となる令和6年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。(5) 定年に関する規定を遵守することを第一に、定年規程を超えて採用している教員に代わる30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を引き続き採用する計画としている。（６）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和５年度）	・多くの専任教員が就任辞退または辞任しているが、改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編制のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。（栄養学部栄養学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	当該学部を開設した令和3年4月は新型コロナウィルス感染症が拡大している期間と重なったため、県をまたぐ移動により着任する予定であった教員から就任辞退の申し出のあったことは致し方ないことであったと考える。就任辞退が開設間際であったことから、教育に支障をきたさないように非常勤講師等の採用により対応してきた。 令和3年12月に学部組織に法人幹部を加えた検討委員会を立ち上げて安定的な教員体制、年齢構成などを検討しているものの、採用した教員の定着意識が薄く、他大学への転出が散見される結果となった。今年1月から検討委員会を実効性の高いものとするため毎月1回以上開催し、教員の年齢構成、現教員の意思確認、科目に対する教員の適正配置、教員候補者の選考などを検討することにより改善を図っている。 辞任した教員の後任については、専門分野を適正に判断し、科目適格性を考慮して採用しており、教育の質という点において問題なく移行できている。その結果として、開設以降管理栄養士の合格率は93%以上、就職率は100%を維持している。（６）	履行中	今後は検討委員会を毎月１回以上実施することとし、教員の年齢構成、現教員の意思確認、科目に対する教員の適正配置、教員候補者の選考などを検討することにより改善を図っていくこととする。また、検討委員会では、教員が抱える個々の事情について常に共有し、辞任という事態になる前に解決策について十分検討し、教育の質を維持することを最優先に、学生の不利益とならないよう対応していくこととする。（６）

設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和５年度）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（栄養学部栄養学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	教育の質を確保するため、実績や経験を考慮すると、65歳以上の教員が一定数必要となることはやむを得ない事情ではあるものの、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用のため、以前より検討委員会において、若手教員の採用を進めてきた。しかし、採用した教員の定着意識が薄く、他大学の転出が散見される結果となった。今年1月から検討委員会を実効性の高いものとするため毎月1回以上開催し、教員の年齢構成、現教員の意思確認、科目に対する教員の適正配置、教員候補者の選考などを検討することにより改善を図っており、完成年度を迎えたことで、現在定年規程に定める退職年齢を超える教員の退職及び後任の採用について計画を進めている。（６）	履行中	完成年度を迎え、現在定年規程に定める退職年齢を越える教員、特に70歳以上の教員については、後任教員知識や経験の伝授の目途を定め退任する計画とする。このため毎月検討委員会を実施し、教員体制の充実や後任教員の採用についての計画を本年10月までにまとめるものとする。併せて、教員の退職に伴い教育の質が低下することのないよう検討委員会において十分に協議することとする。（６）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和５年度）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（教育学部教育学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	教育の質を確保するためには、実績と経験が豊富な教員が必要であることから、公立学校の定年退職教員を雇用している。このため、60歳以上の教員が一定数いるのが現状である。小学校教諭の養成には、指導経験のあるベテラン教員から若手教員への経験と知識の伝播不可欠であると考える。ただ、定年規程の趣旨を鑑み、定年を超える教員を減らし、持続可能な年齢構成となるよう計画していく。（６）	履行中	経験豊富な60歳代以上の教員が若手教員に知識や経験を伝え、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の教員を採用する計画としている。その際、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。（６）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和５年度）	・入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。（経済学部経営学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	令和５年度は新型コロナの終息を見据え、これまで県内の大学に留まっていた受験者が都市圏へ流れ減少していることから、合格者の歩留まり率も下がるとの予測であったが、昨年度より若干の上昇があり84人〈1.20〉と定員を超える入学者となった。 令和6年度については、経済情報学科の学生募集停止に伴い、経営学科の定員を90人と20人増加したが、1月に発生した震災の影響もあり、入学者は66人〈0.73〉と前年の84人を維持することができなかった結果として、収容定員充足率は1.10となり大幅に改善したものの、今後は入学定員充足率を100%に近づけるよう志願者の確保と選抜に努めたいと考える。 （６）	履行中	来年度以降の学生募集では、定員超過及び未充足の対策について、オープンキャンパス等で実施している入学アンケートの分析を進め、これまで同様学生募集に励むとともに適正な定員管理に努めたい。（６）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜スポーツ科学部　スポーツ科学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学では、ＦＤ活動は、学長指揮のもとで大学改革を推進するための学内組織「教育開発センター」が取り組むプロジェクトの1つに位置付けられており、これらを推進する組織として副学長を委員長とする大学ＦＤ委員会を全学的な委員会として設置し、活動を行っている。また、ＳＤ活動についても、大学ＦＤ委員会や担当事務職員が中心となり、ＦＤ活動との連携を重視しながら計画的に実施している。

※関係規程等

大学ＦＤ・ＳＤ委員会規程

○金沢学院大学ＦＤ・ＳＤ委員会規程

施　　行　平成20年4月1日

（趣旨）
第１条 この規程は、金沢学院大学学則第24条の２並びに学校法人金沢学院大学評価委員会規程第８条の定めに基づき、金沢学院大学(以下「本学」という。)で実施するファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、法令遵守及び大学運営に必要な能力及び資質を向上させるために大学設置基準の定めにより実施するスタッフ・ディベロップメント（ＳＤ）を円滑に行うため、大学ＦＤ・ＳＤ委員会(以下「委員会」という。)を置くことについて、必要な事項を定めるものとする。
（任務）
第２条 委員会は、本学の教育研究活動の向上及び運営に必要な能力及び資質の向上に関して検討を行い，その質的充実を図ることを目的として、次の事項を審議し、必要に応じて教学審議会の議に付する。
(1) ＦＤ・ＳＤ活動の企画立案
(2) ＦＤ・ＳＤ活動の実施計画の立案
(3) ＦＤ・ＳＤ活動の点検
(4) ＦＤ・ＳＤ活動に関する情報の収集と提供
(5) その他、理事長・学長の諮問する事項
２　委員会の承認のもとに、年度ごとに必要に応じた分野の小委員会を設ける。なお、小委員会は、委員会に検討・実施事項を報告するものとする。
３　委員会が必要と認める場合，併設校である金沢学院短期大学ＦＤ・ＳＤ委員会と連携することができる。
（構成）
第３条 委員会は，原則として、次の各号に定める委員を以て組織する。ただし、必要がある場合、第３項が規定する小委員会委員の中から若干名を加えることができる。
(1)委員長
(2)委員（小委員長）　若干名
２　前項の委員長は学長が任命し、委員は委員長が委嘱する。
３　委員は、原則５名以内の小委員会委員を以て各小委員会を組織する。
（任期）
第４条　委員の任期は１か年とする。ただし，再任を妨げない。
（会議）
第５条　委員会は，委員長が招集し，議長となる。
２　委員長に事故あるときは、予め委員長が指名した委員がその職務を代行する。
３　委員会が必要と認めた場合は，委員以外の教職員の出席を求め，意見を聴取することができる。
（事務）
第６条 委員会に係る事務は，企画部が所掌する。

附 則
１ この規程は，平成20年４月１日から施行する。
２ この規程は，平成25年４月１日から施行する。
３ この規程は、令和２年４月１日から施行する。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和５年度は、各学部や事務職員から選出された委員からなる全学ＦＤ・ＳＤ委員会を組織して取り組んだ。委員を集めての会議はあまり実施していないが、必要に応じて書面付議による審議を行った。また、副学長を長として組織された教育開発センターの定例会議において、センターの構成員を兼ねる全学ＦＤ・ＳＤ委員会委員長が全学研修会での報告内容等を議事として提出し、審議や意見聴取等を行った。

ｃ　委員会の審議事項等

教員の教育力の一層の向上を目指し、教育の実質化を図るために、定期的に開催するＦＤ／ＳＤ研修会の企画について議論を重ねている。また、ＦＤについてはピアレビュー改革プロジェクトを中心に、授業評価アンケートやピアレビューの実施方法について見直し、評価結果について集計・分析も実施している。

ＳＤについては、各部署の業務や、外部の研修会で得た知識等を共有できるような研修のあり方について、議論を重ねた。

②　実施状況

ａ　実施内容

①教員相互の授業参観及びピアレビュー

②授業評価アンケート

③ＦＤ／ＳＤ研修会

ｂ　実施方法

①前年度後期に引き続き、すべての授業期間をピアレビュー期間に設定し、教員全員がピアレビューのために授業を公開して、空き時間のある教員が参観した。その後、授業者とレビュアーによる意見交換の場を設けることとした。

②前期及び後期の2回、各期末に11項目の質問と自由記述によるオンラインアンケート調査を実施した。

③ＦＤ研修会・ＳＤ研修会

令和５年度は以下の要領で、併設の金沢学院短期大学と合同で全学的な研修会を実施した。

第1回ＦＤ／ＳＤ研修会
日　時：令和5年9月11日(月) 16:00-17:40
内　容：テーマ１：学生の学修意欲を支える教員の姿勢：卒業時アンケート・授業アンケートの分析結果
テーマ２：本学における障がいのある学生の修学支援体制について
※　対面での実施

第2回ＦＤ／ＳＤ研修会
日　時：令和6年3月22日(金) 14:00-15:00
内　容：本学における合理的配慮の申請と提供について
※　対面での実施

上記の他、新任教員研修を３回、ICT関連スキルに特化した小規模研修会を３回、合理的配慮に関する勉強会を１回開催している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互のピアレビューは全教員を対象に実施しており、授業アンケートも全教員が対象となっている。

ＦＤ研修会およびＳＤ研修会への参加については、学長がリーダーシップをもって全員参加を呼び掛けている。そのため、やむを得ない出張や会議あるいは当番職員を除いて、必ず１回は研修会に参加できるよう工夫し、ほぼ全員が出席できるようにしている。各研修会の出席状況については以下のとおりである。

第1回ＦＤ／ＳＤ研修会　　出席者101名（大学教員73名　短大教員9名　事務職員19名）
第2回ＦＤ／ＳＤ研修会　　出席者87名（大学教員65名　短大教員16名　事務職員6名）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これまで実施してきたピアレビューについては、全ての授業回を参観可とし、参観後は相互もしくはチームでディスカッションを行い、振り返りを重視することとしている。
また、平成30年度から準備を進めてきたアセスメントポリシーの策定に伴い、評価の適正化をはかるため、ルーブリックの導入も進めている。
令和５年度の第１回研修会では、２つのテーマを取りあげた。テーマ１では、令和４年度後期に実施した卒業時アンケートの結果および授業アンケートの結果について分析した結果を報告した。卒業時アンケートについては、学生が成績の高低によって複数の階層に分けられ、階層ごとに卒業時の満足度が高まる要因が異なっていることが示された。授業アンケートについては、学生の自由記述をテキストマイニングによって分析し、学部ごとの記述の特徴を明らかにした。テーマ２では、令和６年４月から学校法人でも義務化される障害のある学生に対する合理的配慮について、なぜ義務化されるかの背景や合理的配慮の本質についての研修を行った。第２回研修会は障がいのある学生の修学支援委員会との共催の形を取り、第１回研修会でも扱った合理的配慮の提供の義務化に関して、本学の配慮の提供方針や提供プロセスについて、修学支援委員会からの報告を受け、全教職員と共有した。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

前期及び後期の2回実施した。各期末に11項目の質問と自由記述欄を設けたオンラインアンケートを作成してURLを学内ポータルサイトに掲載した。学生には学内ポータルサイト及び各科目担当教員から呼びかけて、回答を求めた。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、教育開発センター会議において報告がされている。その内、早期対応が必要と思われる教員や授業については、学長の指示のもとで個別に指導・対応をしている。
なお、アンケートの集計結果については本学ホームページ「情報公開」において、学部・学科間での比較ができるような形で公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度にあたる令和３年度から、本件改組の趣旨を達成できるよう、学生が自らの興味、関心を足がかりとして、主体的に問題を発見し、解決につなげていく力を修得できるように授業の工夫を行うこととしており、概ね達成できている。特に４専攻（アスリート・指導員養成専攻、体育教員養成専攻、公安・公務員養成専攻、スポーツビジネス専攻）が目指す就職先を１年次から意識させ、その就職に必要な学力の強化を目指す授業を導入し、卒業後の進路に向けた的確な指導ができている。さらに、専門選択科目の中で、各専攻が目指す就職先との関連が強い授業を16単位設定し、専攻推奨科目として紹介することで学びの方向性を明確に位置づけることを行っている。1年次での必修科目を増やしたことで、2年次にて学修する理論的な内容への導入がスムーズにできた。また今年度より学びの基礎となる「学修基礎」において、より専門性を重視した内容にするため「専攻基礎」に名称変更し、３年次のゼミ配属において、学生が自らの興味・関心をより深めるのに適切な選択ができるようになっている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和４年５月末　公表（次回、令和７年９月末公表予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和１０年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和６年度）

a 公表予定の有無　〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期　〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法　〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（　　） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。